

論理学		開講学年：第 1 学年	
担当：木村 秀（元高校教師）		開講学期：後期	
		単位数：1 単位（30 時間）	
		開講形態：講義・演習	
		週割当時間：2 時間	
分 野 基礎分野 科学的思考の基盤			
学習目標			
1. 科学的思考力およびコミュニケーション能力を習得する。			
回数 及び時間	授 業 内 容	方法	備考
1（2）	オリエンテーション、なぜ文章表現か	講義	
2（2）	表現のルール（主－述を明確に） 他	講義	
3（2）	〃 助詞「は」「が」の性格 2	講義	
4（2）	〃 助詞「が」の性格 3	講義	
5（2）	表現のルール 2～6	講義	
6（2）	〃 、話すように書くは間違い	講義	
7（2）	既習事項の確認（論理の必要性について）	講義	
8（2）	論理の規則と論理展開法について	講義	
9（2）	論理展開法の実際（性悪説を通して）	講義・演習	
10（2）	既習事項の確認 2（論理の展開等について）	講義・演習	
11（2）	論理的文章を書く 1	講義・演習	
12（2）	先週の文章表現についての反省等	講義・演習	
13（2）	敬語法概説	講義・演習	
14（2）	論理文を書く準備、演習	講義・演習	
15（2）	論理文を書く、演習	演習・試験	
成績評価方法 出席状況・小論文			
テキスト・参考書 講師作成			
その他			

物理学		開講学年：第 1 学年	
担当：根本 雄司（臨床工学技士）		開講学期：前期	
		単位数：2 単位（30 時間）	
		開講形態：講義	
		週割当時間：2 時間	
分 野 基礎分野 科学的思考の基盤			
学習目標			
1. 物理的現象に対する一般的理解を求め、専門分野での基礎的知識を習得する。			
回数 及び時間	授 業 内 容	方法	備考
1（2）	物理の概論、基礎的な論理、 心電図モニターのモードから物理を説明	講義	
2（2）	共通の物差し、組み立て、単位、紛らわしい話、力の種類、 フークの法則、圧力と私たちの生活	講義	
3（2）	1 気圧、ヘクトパスカル、水の深さと圧力の関係、 気圧と呼吸の関係、点滴静脈内注射針にかかる圧力	講義	
4（2）	圧力の件、血圧計について、観血血圧と吸引圧について	講義	
5（2）	浮力、身体の密度、ベクトルと加え算、回転力、てこ、天秤、 滑車について	講義	
6（2）	重心と安定・姿勢と緊張、高さと安定性、摩擦力、表面張力、仕 事とエネルギー	講義	
7（2）	仕事量と工率、振動について	講義	
8（1）	音波と超音波について	講義	
9（1）	中間試験	試験	
10（2）	光、ドップラー効果、照度について、中間試験の模範解答	講義	
11（2）	光の屈折とレンズについて、 全反射と光を遠くに送るケーブルと鏡について、	講義	
12（2）	かみなり・アースについて、 マクロショック、ミクロショック、直接交流の説明	講義	
13（2）	電気メス、電池、抵抗の性質、コンデンサーの性質について	講義	
14（2）	トランジスター、変圧器、整流器、超電導について 熱の物理学での考えた方と原子・分子量について	講義	
15（2）	熱量・身体の冷却、物質の状態・変化について 湿度・熱の伝わり方、人間のエネルギー代謝について	講義	
16（2）	放射性元素、原子の崩壊、半減期、医療における放射線の利用	講義	
17（1）	終講試験	試験	
成績評価方法 筆記試験（中間・終講試験）			
テキスト・参考書 前田昌信：看護にいかす物理学，医学書院			
その他			

情報科学		開講学年：第 2 学年 開講学期：前期 単位数：1 単位（30 時間） 開講形態：講義・演習 週割当時間：3 時間	
担当：小林 達郎（会津大学院生）			
分 野 基礎分野 科学的思考の基盤			
学習目標			
1. 情報処理・解釈に対する科学的方法と客観的対比を養い、応用できる能力を習得する。			
回数 及び時間	授 業 内 容	方法	備考
1（3）	情報の定、Google アカウントの作成	講義・演習	
2（3）	コンピュータのしくみ、インターネットについて Word の使い方	講義・演習	
3（3）	医療看護における個人情報情、情報文献検索、 メールの書き方、Excel の使い方	講義・演習	
4（3）	医療情報システムについて、インターネットにおける 注意と自衛、ケーススタディについて	講義・演習	
5（3）	Power Point について、出張報告	講義・演習	
6（3）	プレゼンテーションでの話し方	講義・演習	
7（3）	これまでの復習	講義・演習	
8（3）	試験、スライド印刷方法	演習	
9（3）	試験返却、プレゼンテーション発表（1～20 番）	試験・演習	
10（3）	プレゼンテーション発表（21～40 番）	演習	
成績評価方法 筆記試験・実技			
テキスト・参考書 医学書院：系統看護学講座 基礎分野 情報科学			
その他			

倫理学（看護倫理）		開講学年：第 2 学年 開講学期：後期 単位数：1 単位 3 0 時間（1 5 時間） ＊医療倫理 15 時間と合わせて 3 0 時間 開講形態：講義 週割当時間：2 時間	
分 野 基礎分野 科学的思考の基盤			
学習目標 1．倫理学に関する原則的概念や理論を理解し、看護師としての倫理的責任と役割を探究する。 2．看護師が専門的分野において倫理的な問題、葛藤を認識し解決調整をするための能力を養う。			
回数 及び時間	授 業 内 容	方法	備考
1（1）	倫理とは何か 倫理と道徳 道徳と法 事例 1 授業の代返	講義	
2（1）	事例 2 家族の思いと価値観 価値観形成に影響するもの	講義	
3（2）	看護倫理の歴史的推移 「徳の倫理」「倫理原則」 事例 3 赤ちゃんとの面会を望む患者	講義	
4（2）	倫理的ジレンマ 意思決定のためのモデル（4 ステップ） GW 発表	講義・GW	
5（2）	倫理に関係する言葉 患者の権利 リスボン宣言	講義	
6（2）	倫理に関係する言葉 インフォームドコンセント 事例 4 守秘義務	講義	
7（1）	社会からみた看護	講義	
8（1）	看護は専門職 専門職の基準「看護者の倫理綱領」	試験	
9（2）	DVD 「my sister's keeper」	DVD	
8（1）	終講試験	試験	
成績評価方法 終講試験			
テキスト・参考書 塩野 寛・清水 恵子：生命倫理への招待. 南山堂 配布資料等			
その他			

倫理学		開講学年：第 2 学年 開講学期：前期 単位数：1 単位 3 0 時間（1 5 時間） ＊看護倫理 15 時間と合わせて 3 0 時間 開講形態：講義 週割当時間：2 時間	
担当：渡部 栄子（看護師） 会津中央病院他で 35 年の実務経験			
分 野 基礎分野 科学的思考の基盤			
学習目標 1. 物事の価値体系や諸説を学び、望ましい医療人としての倫理観を習得する。			
回数 及び時間	授 業 内 容	方法	備考
1（2）	生命倫理の流れ	講義	
2（2）	はじめに、生命誕生と医学の介入	講義	
3（2）	再生医療、生を断つことへの医学の介入	講義	
4（2）	死への医学の介入	講義	
5（2）	脳死、殺人、安楽死、尊厳死	講義	
6（2）	尊厳死、医療と宗教、ターミナルケア	講義	
7（2）	死の臨床、インフォームドコンセント	講義	
8（1）	まとめ	試験	
成績評価方法 試験			
テキスト・参考書 塩野 寛・清水 恵子：生命倫理への招待. 南山堂			
その他・			

社会学		開講学年：第 1 学年 開講学期：前期 単位数：1 単位（30 時間） 開講形態：講義 週割当時間：2 時間	
担当：佐々木 篤信（大学名誉教授）			
分 野 基礎分野 人間と生活・社会の理解			
学習目標 1. 社会的存在としての人間を理解する。			
回数 及び時間	授 業 内 容	方法	備考
1（2）	社会を科学する、事実の基づき深く理解する	講義	
2（2）	社会学とは何か、A. コントの社会、現代の社会	講義	
3（2）	家族（1）家族の構造と機能 先端技術の光と影	講義	
4（2）	家族（2）結婚（制度と現実・課題）	講義	
5（2）	家族（3）家族の絆を考える ①障がい者のいる家族 ②健常者家族の虐待	講義	
6（2）	地域社会（1）地域と看護 ①介護保険の今 ②多重介護の現状	講義	
7（2）	地域社会（2）環境 ①環境基本法 ②原発事故と環境	講義	
8（2）	地域社会（3）環境 ①究極の廃棄物への対応②自治体の取り組み	講義	
9（2）	職場（1）労働の意義 ポジティブな側面、プロフェッショナル	講義	
10（2）	職場（2）労働のポジとネガ ①クリティカルケア②現場に見えるネガティブな現実	講義	
11（2）	職場（3）危機を乗り越える ①職場・仕事の危機②人生の危機	講義	
12（2）	現代社会（1）現代社会と心の病 「解離性同一性障」	講義	
13（2）	現代社会（2）社会的少数者一性的マイノリティを考える	講義	
14（2）	現代社会（3）社会的ひきこもり、自殺、無縁社会を考える	講義	
15（2）	現代社会（4）危機管理を考える	講義	
16（1）	まとめ	試験	
成績評価方法 筆記試験			
テキスト・参考書 医学書院：系統看護学講座 基礎分野 社会学			
その他			

心理学Ⅰ		開講学年：第 1 学年 開講学期：前期 単位数 1 単位（30 時間） 開講形態：講義 週割当時間：2 時間	
分 野 基礎分野 人間と生活・社会の理解			
学習目標			
1. 人間の行動、成長発達に関する心理的現象を学び、人間理解、自己理解を深める。			
回数及び 時間	授 業 内 容	方法	備考
1（2）	心理学の歴史	講義	
2（2）	性格について（類型論、性格の形成、性格検査）	講義	
3（2）	適応について（適応・不適応、自己意識の発達、環境）	講義	
4（2）	適応②（ストレス・欲求、PTSD、防衛機制）	講義	
5（2）	感情・情緒について（多彩心理、情緒の発達、理論）	講義	
6（2）	学習（学習の理論、古典的条件づけ、オペラント条件づけ）	講義	
7（2）	学習について、記憶について（短期・長期記憶）	講義	
8（2）	記憶（忘却の過程）記憶の関連（発達障害、自閉症/AD/HD）	講義	
9（2）	知能について（知能の発達、知能検査）	講義	
10（2）	知能について（知能検査②）、思考について（思考の発達・異常）	講義	
11（2）	発達について（発達段階・課題・乳幼児期・児童期について）	講義	
12（2）	発達について（児童期・青年期）	講義	
13（2）	まとめ（発達障害に関連する DVD 鑑賞）	講義	
14（2）	発達について（壮年期・老年期）、集団について①	講義	
15（2）	集団について②、復習	講義	
16（1）	終講試験	試験	
学習（学習とは、条件づけ、影響する条件）			
成績評価方法 レポート・終講試験			
テキスト・参考書 医学書院：系統看護学講座 基礎分野 心理学			
その他			

心理学Ⅱ		開講学年：第 1 学年	
担当：田中 多恵（臨床心理士）		開講学期：前期	
		単位数：1 単位（30 時間）	
		開講形態：講義・演習	
		週割当時間：2 時間	
分 野 基礎分野 人間と生活・社会の理解			
学習目標			
1. カウンセリング技法を身につけ患者理解の基礎的能力を習得する。			
回数 及び時間	授 業 内 容	方法	備考
1（1）	イントロダクション（授業内容の説明）	講義	
2（2）	臨床心理学について（心理臨床・臨床心理学の歴史）	講義	
3（2）	心の葛藤、防衛機制、心の問題（精神疾患）	講義	
4（2）	心の問題、心理アセスメント①	講義	
5（2）	心理アセスメント②（観察法、質問紙法）	講義	
6（2）	心理アセスメント③（投影法、家族のアセスメント）	講義	
7（2）	心理療法①（心理療法とカウンセリング、精神分析療法	講義・演習	
8（2）	心理療法②（来談者中心療法）	講義・演習	
9（2）	心理療法②（認知行動療法、箱庭療法等）	講義	
10（2）	GW 対人援助	講義	
11（2）	患者の心理	講義	
12（2）	体験学習（コラージュ制作）	講義・演習	
13（2）	医療、看護職者の心理 バーンアウトについて	講義	
14（2）	バーンアウトについて 患者の心理（死の受容）	講義	
15（2）	振り返り	講義	
16（1）	終講試験	試験	
成績評価方法 筆記試験			
テキスト・参考書 医学書院：系統看護学講座 基礎分野 心理学			
その他			

音 楽		開講学年：第 1 学年 開講学期：前期 単位数：1 単位（30 時間） 開講形態：実技 週割当時間：2 時間	
分 野 基礎分野 人間と生活・社会の理解			
学習目標 1. 情操を豊かにし、個々の持つ感性を磨き、創造性・協調性を習得する。			
回数 及び時間	授 業 内 容	方法	備考
1（2）	自己紹介 3つの目標 Voice トレーニング・校歌	実技	
2（2）	Voice トレーニング、コン1、校歌、 イタリア歌曲（我が太陽）を原語で歌う	実技	
3（2）	Voice トレーニング、コン1、校歌、O'soleMIo DoReMi の歌	実技	
4（2）	Voice トレーニング、Beethoven 曲第九 四楽章 DVD 観賞	実技	
5（2）	Voice トレーニング、笑顔で返事、 Beethoven 曲第九	実技	
6（2）	Voice トレーニング 第九のテーマを p f で弾く 3 人一組で練習	実技	
7（2）	Voice トレーニング 実技テスト O'soleMIo 第九合唱	実技	
8（2）	Voice トレーニング 第九合唱	実技	
9（2）	Voice トレーニング 松江豊寿の功績 既習曲	実技	
10（2）	Voice トレーニング、校歌 コンコーネ O'soleMIo 自己評価	実技	
11（2）	DVD 観賞 「サウンド オブ ミュージック」	実技	
12（2）	DVD 観賞 「サウンド オブ ミュージック」	実技	
13（2）	Voice トレーニング 既習曲合唱、	実技	
14（2）	Voice トレーニング 第九練習	実技	
15（2）	第九練習（ピアノの合わせて）	実技	
成績評価方法 実技試験			
テキスト・参考書 配布資料			
その他			

英語 I		開講学年：第 1 学年 開講学期：前期 単位数：1 単位（30 時間） 開講形態：講義 週割当時間：2 時間	
分 野 基礎分野 人間と生活・社会の理解			
学習目標 1. 英語の基礎力を強化し、平易ながらも優れた英文を講読し、読解力を習得する。			
回数 及び時間	授 業 内 容	方法	備考
1（2）	Self-intro, “R” Pronunciation, evaluation quiz	講義	
2（2）	International atmosphere ; hayfver ; allerqies	講義	
3（2）	Osteoporosis reading;symptomas chart;symptom bingo	講義	
4（2）	Adjectives ; small talk about GW ; Health check list	講義	
5（2）	Lifestyle questions from homework ; adv.of frequ, RDA reading	講義	
6（2）	Alphabet／word;Vaccine;symptoms; I ’m sorry to hear that.	講義	
7（2）	Florence Nightingale／Blood pressure	講義	
8（2）	MERS symptoms／Florence Nightingale P t , 2／ Asking question	講義	
9（2）	X - ray Ist floor／Heart vocabulary	講義	
10（2）	Body temperature, part1 , readings, review quiz	講義	
11（2）	Body temperature, part2 , medicne, taking, quiz	講義	
12（2）	Countries／Summer vac. Future tense／symptoms	講義	
13（2）	T emperature／Symptoms／Heat Stroke／Aizu tourism	講義	
14（2）	Review of symptoms／Asking pt. questions／orig.qu.	講義	
15（2）	Reading／translation of summer hw／role play test	講義	
16（1）	試験	試験	
成績評価方法 筆記試験（終講試験）			
テキスト・参考書			
その他			

英語Ⅱ		開講学年：第 1 学年 開講学期：後期 単位数：1 単位（30 時間） 開講形態：講義 週割当時間：2 時間	
担当：手代木 Troy 香（元大学講師）			
分 野 基礎分野 人間と生活・社会の理解			
学習目標			
1. 英作文、看護場面における英語表現力を習得する。			
回数 及び時間	授 業 内 容	方法	備考
1（2）	Roleplay - greeting patient,asking questions.	講義	
2（2）	Are you／Do you have_? Roleplay.	講義	
3（2）	Phrase Sheet ; Hand back exams; Translate hw ; review	講義	
4（2）	Blood test, Roleplay. Review symptoms	講義	
5（2）	Translation ; floors;departments	講義	
6（2）	Review ; Offering things ; roleplay	講義	
7（2）	Blood pressure Roleplay ; relaxing the patient.	講義	
8（1）	Asking questions(homework); “When did tha pain start?”~ago etc.	講義	
9（1）	Lifestyle questionnaire ; How many , How much ; How often	試験	
10（2）	Pain ; Reasons for pain ; Role Play ; New sheet “It’ll be all right”	講義	
11（2）	Swollen~ ; Recentlytpastperfect ; sympotoms ; Role play.	講義	
12（2）	Symptoms ; How is your symptom? Role Play ; review.	講義	
13（2）	Review, Internal organs.	講義	
14（2）	External organs ; body parts ; review ; basic illnesses.	講義	
15（2）	Oral Role - play Test.	講義	
16（1）	Final exam.	試験	
成績評価方法 筆記試験（終講試験）			
テキスト・参考書			
その他			

体育Ⅰ		開講学年：第 1 学年	
担当：高杉 勝（高校教師）		開講学期：前期	
		単位数：1 単位（30 時間）	
		開講形態：実技	
		週割当時間：2 ～ 3 時間	
分 野 基礎分野 人間と生活・社会の理解			
学習目標			
1. 運動の必要性を理解し、心身の保持増進をはかる。			
回数 及び時間	授 業 内 容	方法	備考
1（2）	球技（バスケット、バレーボール）バドミントン その他	実技	
2（2）	〃	実技	
3（2）	〃	実技	
4（2）	〃	実技	
5（2）	〃	実技	
6（2）	〃	実技	
7（2）	〃	実技	
8（2）	〃	実技	
9（2）	〃	実技	
10（2）	〃	実技	
11（2）	〃	実技	
12（2）	〃	実技	
13（2）	〃	実技	
14（2）	〃	実技	
15（2）	〃	実技	
成績評価方法 出席状況・実技			
テキスト・参考書			
その他			

体育Ⅱ		開講学年：第3学年 開講学期：後期 単位数：1単位（15時間） 開講形態：実技 週割当時間：2～3時間	
分 野 基礎分野 人間と生活・社会の理解			
学習目標 1. スポーツを通して、リーダーシップや協調性・社会性を習得する。			
回数 及び時間	授 業 内 容	方法	備考
1（2）	球技 その他	実技	
2（2）	〃	実技	
3（2）	〃	実技	
4（2）	〃	実技	
5（2）	〃	実技	
6（2）	〃	実技	
7（3）	〃	実技	
成績評価方法 出席状況・実技			
テキスト・参考書 なし			
その他			

解剖学		開講学年：第1学年 開講時期：前期 単位数：2単位 45時間 開講形態：講義 週割当時間：3～4時間	
担当：西山 慶治（大学教授）			
分野 専門基礎分野 人体の構造と機能			
学習目標 1. 人体の構造と機能を系統立てて学ぶ。 2. 生命現象の基本である呼吸、循環、体温の仕組みを知りバイタルサインを読み取ることができる。 3. 人体の内部変化や外部の環境変化があっても身体が健康体であるように常に一定の恒常性を保つための仕組みを理解する。 4. 人体の構成成分である化学物質、分布と代謝について理解する。 生体が正常な営みをするために必要な栄養に関する基礎的知識を学ぶ。			
回数 及び時間	授業内容	方法	備考
1（3）	解剖学総論・発生学・細胞組織学	講義	
2（3）	骨学1	講義	
3（3）	骨学2・筋学	講義	
4（4）	筋学	講義	
5（4）	循環1	講義	
6（4）	循環2	講義	
7（4）	消化器	試験	
8（4）	呼吸器	講義	
9（4）	泌尿・生殖器	講義	
10（4）	内分泌	講義	
11（4）	神経	講義	
12（4）	感覚器	講義	
13（1）	まとめ	講義	
成績評価方法 筆記試験			
テキスト・参考書 医学書院：系統看護学講座 専門基礎分野 解剖生理学 藤田恒夫：入門人体解剖学、南江堂			
その他			

生理学		開講学年：第 1 学年	
担当：挾間 章博（大学教授）		開講時期：後期	
		単位数：2 単位 4 5 時間	
		開講形態：講義	
		週割当時間：3 時間	
分 野 専門基礎分野 人体の構造と機能			
学習目標			
1. 人間の身体の構造と機能を系統立てて学ぶ。			
2. 生命現象の基本である呼吸、循環、体温の仕組みを知りバイタルサインを読み取ることができる。			
3. 人体の内部変化や外部の環境変化があっても身体が健康体であるように常に一定の恒常性を保つための仕組みを理解する。			
4. 人体の構成成分である化学物質、分布と代謝について理解する。 生体が正常な営みをするために必要な栄養に関する基礎的知識を学ぶ。			
回数及び 時間	授業内容	方法	備考
1 (3)	細胞の構造と機能、体液の組成・役割、血液の成分と働き	講義	
2 (3)	呼吸概論、呼吸運動、肺気量分画、ガス交換	講義	
3 (3)	ガス運搬、肺循環、呼吸調節、循環概論	講義	
4 (3)	心臓と血管の機能、心周期、心拍出量と静脈還流、血圧	講義	
5 (3)	血圧について、微小・局所循環、血圧調節（短期・長期）	講義	
6 (3)	神経系 1（神経一般、筋収縮）	講義	
7 (3)	神経系 2（中枢神経・末梢神経）	講義	
8 (3)	内分泌 1（概論、視床下部、下垂体、甲状腺）	講義	
9 (3)	内分泌 2（膵・副腎）、生殖（性ホルモン）	講義	
10 (3)	腎機能 1・2、排尿の仕組、腎機能検査	講義	
11 (3)	泌尿器系	講義	
12 (3)	消化器系	講義	
13 (3)	消化器系	講義	
14 (3)	身体の調節機構	講義	
15 (3)	まとめ	講義	
16 (1)	まとめ	試験	
成績評価方法 筆記試験			
テキスト・参考書 医学書院：系統看護学講座 専門基礎分野 解剖生理学			
その他			

生化学		開講学年：第 1 学年	
担当：本間 好（大学教授）		開講時期：前期	
		単位数：1 単位 30 時間	
		開講形態：講義	
		週割当時間：3 ～ 4 時間	
分野 専門基礎分野 人体の構造と機能			
学習目標			
1. 人体を物質レベルでとらえ、その構造、性状を解釈する			
2. 人体の基本単位に細胞の構造と機能を理解する。			
3. 三大熱量素の代謝を理解する。			
4. ビタミン、ホルモンの役割を理解する。			
5. 生体における代謝機能と防御機能について理解する。			
回数 及び時間	授業内容	方法	備考
1（4）	イントロダクション、生体物質 1	講義	
2（4）	生体物質 2、水（電解質）、無機質	講義	
3（4）	ホルモン、酵素・ビタミン	講義	
4（4）	エネルギー代謝 1	講義	
5（4）	エネルギー代謝 2、代謝各論	講義	
6（4）	遺伝情報、転写・翻訳	講義	
7（3）	代謝異常、情報伝達	講義	
8（3）	止血と線溶、まとめ	講義	
9（1）	まとめ	試験	
成績評価方法 筆記試験			
テキスト・参考書 医学書院：系統看護学講座 専門基礎分野 生化学			
その他			

病理学総論 担当：加藤 淳（臨床検査技師） 渡部 裕美子（専任教員） 二瓶 キヨ子（専任教員）		開講学年：第 1 学年 開講時期：前期・後期 単位数：1 単位 3 0 時間 開講形態：講義 週割当時間：2 時間	
分 野 専門基礎分野 疾病の成り立ちと回復の促進			
学習目標 1. 疾病の原因や成り立ちを理解し、回復を促進するために必要な知識、観察力を養う。			
回数及び 時間	授業内容	方法	備考
1（2）	病理学で学ぶこと	講義	
2（2）	細胞・組織の障害と修復	講義	
3（2）	炎症 循環障害	講義	
4（2）	腫瘍	講義	
5（2）	循環器系の疾患	講義	
6（2）	血液、造血器系の疾患	講義	
7（2）	呼吸器系の疾患	講義	
8（2）	消化器系の疾患	講義	
9（2）	腎泌尿器・生殖器・乳腺の疾患	講義	
10（2）	内分泌の疾患	講義	
11（2）	感染症	講義	
12（3）	免疫、移植と再生医療	講義	
13（2）	老化と死	講義	
14（3）	先天異常と遺伝子異常	講義	
15（1）	まとめ	試験	
成績評価方法 筆記試験			
テキスト・参考書 医学書院：系統看護学講座 専門基礎分野 病理学			
その他			

病態生理学Ⅰ 呼吸器		開講学年：第1学年 開講時期：後期 単位数：1単位 30時間（15時間） ＊運動器疾患15時間と合わせて30時間 開講形態：講義 週割当時間：2時間	
担当：山岸 茂樹（医師）			
分野 専門基礎分野 疾病の成り立ちと回復の促進			
学習目標 1. 疾病の原因や成り立ちを理解し、回復を促進するために必要な知識、観察力を養う。			
回数及び 時間	授業内容	方法	備考
1（2）	呼吸器の解剖・生理、呼吸機能検査	講義	
2（2）	呼吸器感染症（肺炎・インフルエンザ）	講義	
3（2）	呼吸器感染症（結核、非結核性抗酸菌症）	講義	
4（2）	気道疾患（気管支喘息、COPD）	講義	
5（2）	間質性肺疾患（肺線維症、その他）	講義	
6（2）	肺血栓塞栓症、呼吸不全	講義	
7（2）	肺腫瘍	講義	
8（1）	胸膜・縦隔疾患	講義	
9（1）	まとめ	試験	
成績評価方法 筆記試験			
テキスト・参考書 医学書院：系統看護学講座 専門分野 呼吸器			
その他			

病態生理学Ⅰ 運動器		開講学年：第 1 学年 開講時期：後期 担当：高須 誠（医師） 単位数：1 単位 30 時間（15 時間） ＊呼吸器疾患 15 時間と合わせて 30 時間 開講形態：講義 週割当時間：2 時間	
分 野 専門基礎分野 疾病の成り立ちと回復の促進			
学習目標 1. 疾病の原因や成り立ちを理解し、回復を促進するために必要な知識、観察力を養う			
回数及び時間	授業内容	方法	備考
1（2）	解剖・生理 病態生理、形態と機能	講義	
2（2）	症候・診断について	講義	
3（2）	診断・骨折各論について	講義	
4（2）	骨折各論	講義	
5（2）	外傷性疾患について	講義	
6（2）	外傷性疾患・先天性疾患について	講義	
7（2）	先天性疾患について	講義	
8（1）	内因性疾患について	講義	
8（1）	まとめ	試験	
成績評価方法 筆記試験			
テキスト・参考書 医学書院：系統看護学講座 専門分野 運動器			
その他			

病態生理学Ⅱ 脳神経		開講学年：第 2 学年 開講学期：前期 単 位 数：1 単位 3 0 時間（循環器 1 5 時間） ＊循環器疾患 1 5 時間と合わせて 3 0 時間 開講形態：講義 週割当時間：2 時間		
分 野 専門基礎分野 疾病の成り立ちと回復の促進				
学習目標 1. 系統別疾患の病態と治療、検査について理解することで、健康・疾病に関する観察力・判断力を養い、看護に活用できる。				
回数 及び時 間	授 業 内 容		方法	備考
1（2）	脳・神経の解剖生理・構造と機能		講義	
2（2）	神経症状と病態生理		講義	
3（2）	診察・検査・診断と治療		講義	
4（2）	脳梗塞・脳腫瘍		講義	
5（2）	くも膜下出血、脳出血		講義	
6（2）	脳の感染症・外傷		講義	
7（2）	変性疾患・神経筋疾患・認知症		講義	
9（1）	まとめ		試験	
成績評価方法 筆記試験				
テキスト・参考書 医学書院：系統看護学講座 専門分野 脳・神経				
その他				

病態生理学Ⅱ 循環器		開講学年：第 2 学年 開講学期：前期 単 位 数：1 単位 3 0 時間（1 5 時間） ＊脳神経疾患 1 5 時間と合わせて 3 0 時間 開講形態：講義 週割当時間：2 時間	
担当：寺田 功一（医師）			
分 野 専門基礎分野 疾病の成り立ちと回復の促進分野			
学習目標 1．系統別疾患の病態と治療、検査について理解することで、健康・疾病に関する観察力・判断力を養い、看護に活用できる。			
回数 及び時間	授 業 内 容	方法	備考
1（1）	下大静脈、上大静脈→右心房→三尖弁→右心室→肺動脈→肺静脈弁→左心房→僧帽弁→左心室→上行大動脈 肺動脈圧、一日の脈、心拍出量、心筋の厚さ	講義	
2（1）	冠動脈の房室接合部面、正常 EKG、何で VF になるか	講義	
3（1）	刺激伝導系、内腔→外腔 QRS の幅、脚ブロック、ペースメーカー、心電図	講義	
4（1）	大循環、小循環、カリウムと心停止、低カリウム血症と不整脈 リンパ管胸管、乳び胸、気胸	講義	
5（1）	虚血（可逆・非可逆）側腹血行、冠動脈、解離、酵素の需要とバランス、AED、不整脈	講義	
6（1）	GOT、GPT、CPK、LDH、WBC 出現と消退、IABD 解離	講義	
7（1）	冠動脈バイパス	講義	
8（1）	体外循環、不安定狭心症、関連痛	講義	
9（1）	心不全、ポンプを使って説明、動脈硬化と収縮期拡張期血圧、血管抵抗	講義	
1 0（1）	体外循環、肺水腫、心臓喘息、気管支喘息	講義	
1 1（1）	出血性ショック、β ブロックと慢性心不全、胎児循環	講義	
1 2（1）	胎児循環、	講義	
1 3（1）	心室中隔欠損根治、肺動脈絞扼術、完全房室ブロック	講義	
1 4（1）	脳梗塞、高血圧	講義	
1 5（1）	心電図復習	講義	
1 6（1）	まとめ	試験	
成績評価方法 筆記試験 テキスト・参考書 上塚芳郎他：専門分野Ⅱ 成人看護学〔3〕循環器，医学書院。 その他			

病態生理学Ⅲ 内分泌、代謝		開講学年：第 2 学年 開講学期：前期 単 位 数：1 単位 3 0 時間（1 5 時間） ＊消化器疾患 1 5 時間と合わせて 3 0 時間 開講形態：講義 週割当時間：2 時間	
担当：曾根 恵児（医師）			
分 野 専門基礎分野 疾病の成り立ちと回復の促進			
学習目標 1．系統別疾患の病態と治療、検査について理解することで、健康・疾病に関する観察力・判断力を養い、看護に活用できる。			
回数 及び時間	授 業 内 容	方法	備考
1（1）	内分泌総論（内分泌器官・健康教育）	講義	
2（1）	視床下部－下垂体系ホルモン	講義	
3（1）	下垂体前葉	講義	
4（1）	下垂体後葉 甲状腺総論	講義	
5（1）	橋本病 バセドウ病	講義	
6（1）	亜急性甲状腺、甲状腺癌、副甲状腺機能亢進症	講義	
7（1）	副甲状腺機能低下症 副腎疾患総論	講義	
8（1）	原発性アルドステロン症、クッシング症候群、褐色細胞腫	講義	
9（1）	性ホルモン異常	講義	
1 0（1）	糖尿病総論 分類	講義	
1 1（1）	糖尿病の合併症（慢性）	講義	
1 2（1）	糖尿病の合併症（急性）	講義	
1 3（1）	メダボリックシンドローム 脂質異常症	講義	
1 4（1）	尿酸代謝障害	講義	
1 5（1）	まとめ	試験	
成績評価方法 筆記試験 テキスト・参考書 黒江ゆり子他：専門分野Ⅱ 成人看護学〔6〕内分泌・代謝，医学書院。 その他			

病態生理学Ⅲ 消化器		開講学年：第 2 学年 開講学期：前期 単 位 数：1 単位 3 0 時間（1 5 時間） ＊内分泌・代謝疾患 1 5 時間と合わせて 3 0 時間 開講形態：講義 週割当時間：1 時間	
分 野 専門基礎分野 疾病の成り立ちと回復の促進			
学習目標			
1．系統別疾患の病態と治療、検査について理解することで、健康・疾病に関する観察力・判断力を養い、看護に活用できる。			
回数 及び時間	授 業 内 容	方法	備考
1（2）	消化管機能と構造 疾患の理解 食道	講義	
2（2）	疾患の理解 胃	講義	
3（2）	〃 大腸	講義	
4（2）	〃 大腸・イレウス	講義	
5（2）	〃 肝臓	講義	
6（2）	〃 肝臓・胆のう	講義	
7（2）	〃 膵臓	講義	
8（1）	まとめ	試験	
成績評価方法			
筆記試験			
テキスト・参考書			
金田 智他：専門分野Ⅱ 成人看護学〔5〕消化器，医学書院.			
その他			

病態生理学Ⅳ　血液		開講学年：第 2 学年 開講学期：前期 単 位 数：1 単位　3 0 時間（1 0 時間） ＊腎疾患 1 0 時間、泌尿器疾患 1 0 時間と合わせて 3 0 時間 開講形態：講義 週割当時間：2 時間	
分　野　　専門基礎分野　　疾病の成り立ちと回復の促進			
学習目標 1．系統別疾患の病態と治療、検査について理解することで、健康・疾病に関する観察力・判断力を養い、看護に活用できる。			
回数 及び時間	授　業　内　容	方法	備考
1（1）	血液の成分と機能	講義	
2（1）	造血のしくみ　検査	講義	
3（1）	赤血球の異常	講義	
4（1）	再生不良性貧血　溶血性貧血	講義	
5（1）	造血幹細胞移植	講義	
6（1）	血液型	講義	
7（1）	白血病	講義	
8（1）	悪性リンパ腫	講義	
9（1）	多発性骨髄腫　血友病　DIC 等	講義	
1 0（1）	まとめ	試験	
成績評価方法 筆記試験			
テキスト・参考書 飯野京子他：専門分野Ⅱ　成人看護学〔4〕血液・造血器，医学書院.			
その他			

病態生理学Ⅳ 腎臓 担当：渡部 裕美子（専任教員）		開講学年：第２学年 開講学期：前期 単 位 数：１単位 ３０時間（１０時間） ＊血液疾患１０時間、泌尿器疾患１０時間と合わせて３０時間 開講形態：講義 週割当時間：１時間	
分 野 専門基礎分野 疾病の成り立ちと回復の促進			
学習目標 １．系統別疾患の病態と治療、検査について理解することで、健康・疾病に関する観察力・判断力を養い、看護に活用できる。			
回数 及び時間	授 業 内 容	方法	備考
１（１）	腎臓の構造と機能	講義	
２（１）	症状とその病態生理 尿の異常、浮腫、脱水	講義	
３（１）	〃 循環器系の異常、血液の異常	講義	
４（１）	検査と治療・処置	講義	
５（１）	腎疾患の内科的・外科的・透析療法・腎移植について	講義	
６（１）	腎不全と慢性腎臓病（定義・分類・症状・治療）	講義	
７（１）	腎不全と慢性腎臓病（透析療法）	講義	
８（１）	腎不全と慢性腎臓病（透析療法）	講義	
９（１）	慢性腎不全、慢性腎臓病について	講義	
１０（１）	慢性腎不全、慢性腎臓病について	講義	
１１（１）	まとめ	試験	
成績評価方法 筆記試験			
テキスト・参考書 大東貴志他：専門分野Ⅱ 成人看護学〔８〕腎・泌尿器，医学書院．			
その他			

病態生理学Ⅳ　泌尿器		開講学年：第２学年 開講学期：前期 単位数：１単位　３０時間（１０時間） ＊血液疾患１０時間、腎疾患１０時間と合わせて３０時間 開講形態：講義 週割当時間：１時間	
分　野　専門基礎分野　疾病の成り立ちと回復の促進			
学習目標 １．系統別疾患の病態と治療、検査について理解することで、健康・疾病に関する観察力・判断力を養い、看護に活用できる。			
回数 及び時間	授　業　内　容	方法	備考
１（１）	腎・泌尿器の構造と機能	講義	
２（１）	〃　　　　　　　　　症状・病態生理	講義	
３（１）	症状・病態生理　　検査と治療、処置	講義	
４（１）	検査と治療、処置	講義	
５（１）	疾患の理解	講義	
６（１）	〃	講義	
７（１）	〃	講義	
８（１）	〃	講義	
９（１）	〃	講義	
１０（１）	まとめ	試験	
成績評価方法 筆記試験			
テキスト・参考書 大東貴志他：専門分野Ⅱ　成人看護学〔８〕腎・泌尿器，医学書院.			
その他			

病態生理学Ⅴ アレルギー・膠原病		開講学年：第 2 学年 開講学期：後期 担当：渡部 裕美子（専任教員）	
		単 位 数：1 単位 2 0 時間（5 時間） ＊感覚器 1 5 時間（眼科 5 時間、耳鼻科 5 時間、皮膚科 5 時間） と合わせて 2 0 時間 開講形態：講義 週割当時間： 1 時間	
分 野 専門基礎分野 疾病の成り立ちと回復の促進			
学習目標 1．系統別疾患の病態と治療、検査について理解することで、健康・疾病に関する観察力・判断力を養い、看護に活用できる。			
回数 及び時間	授 業 内 容	方法	備考
1 （1）	アレルギー・免疫のしくみ、検査と診断	講義	
2 （1）	アレルギー・症状と疾患の理解	講義	
3 （1）	アレルギー・症状と疾患の理解 膠原病 自己免疫と病態生理 検査と治療 疾患の理解	講義	
4 （1）	膠原病 自己免疫と疾患の理解	講義	
5 （1）	まとめ	試験	
成績評価方法 筆記試験			
テキスト・参考書 岩田健太郎他：成人看護学〔1 1〕アレルギー・膠原病，医学書院。			
その他			

病態生理学Ⅴ 感覚器 眼科		開講学年：第 2 学年 開講学期：後期 担当：遠山 正孝（医師）		開講形態：講義 週割当時間： 1 時間
分 野 専門基礎分野 疾病の成り立ちと回復の促進				
学習目標 1． 系統別疾患の病態と治療、検査について理解することで、健康・疾病に関する観察力・判断力を養い、看護に活用できる。				
回数 及び時間	授 業 内 容	方法	備考	
1 （3）	眼科外来見学	見学		
2 （1）	白内障	講義		
3 （1）	眼科総論	講義		
4 （1）	眼科各論	講義		
5 （1）	まとめ	試験		
成績評価方法 筆記試験 テキスト・参考書 増田寛次郎他：専門分野Ⅱ 成人看護学⑬ [第 2 6 巻] 皮膚、眼，メヂカルフレンド社。 その他				

病態生理学Ⅴ 感覚器 耳鼻咽喉科疾患		開講学年：第 2 学年 開講学期：後期 単 位 数：1 単位 1 5 時間（5 時間） ＊感覚器 1 5 時間（眼科 5 時間、耳鼻科 5 時間、皮膚科 5 時間） ＊アレルギー・膠原病 5 時間と合わせて 2 0 時間 開講形態：講義 週割当時間：1 時間	
分 野 専門基礎分野 疾病の成り立ちと回復の促進			
学習目標 1．系統別疾患の病態と治療、検査について理解することで、健康・疾病に関する観察力・判断力を養い、看護に活用できる。			
回数 及び時間	授 業 内 容	方法	備考
1（1）	構造と機能	講義	
2（1）	検査について	講義	
3（1）	耳疾患	講義	
4（1）	鼻疾患	講義	
5（1）	咽喉頭疾患	講義	
6（1）	まとめ	試験	
成績評価方法 筆記試験			
テキスト・参考書 神崎 仁他：専門分野Ⅱ 成人看護学⑭〔第 2 7 巻〕耳鼻咽喉，メヂカルフレンド社.			
その他			

病態生理学Ⅴ 感覚器 皮膚科疾患		開講学年：第 2 学年 開講学期：後期 単 位 数：1 単位 1 5 時間（5 時間） ＊感覚器 1 5 時間（眼科 5 時間、耳鼻科 5 時間、皮膚科 5 時間） ＊アレルギー・膠原病 5 時間と合わせて 2 0 時間 開講形態：講義 週割当時間：1 時間	
分 野 専門基礎分野 疾病の成り立ちと回復の促進			
学習目標 1．系統別疾患の病態と治療、検査について理解することで、健康・疾病に関する観察力・判断力を養い、看護に活用できる。			
回数 及び時間	授 業 内 容	方法	備考
1（1）	皮膚の構造と機能、主な症状、検査と治療法	講義	
2（1）	炎症性皮膚疾患	講義	
3（1）	〃		

病態生理学Ⅵ 女性生殖器		開講学年：第 3 学年 開講学期：前期 単 位 数：1 単位 2 0 時間（1 0 時間） ＊ 歯科・口腔疾患 1 0 時間と合わせて 2 0 時間 開講形態：講義 週割当時間： 1 時間	
分 野 専門基礎分野 疾病の成り立ちと回復の促進			
学習目標 1．系統別疾患の病態と治療、検査について理解することで、健康・疾病に関する観察力・判断力を養い、看護に活用できる。			
回数 及び時間	授 業 内 容	方法	備考
1（1）	女性生殖器の構造と機能	講義	
2（1）	症状とその病態生理	講義	
3（1）	診察・検査	講義	
4（1）	治療・処置・疾患の理解	講義	
5（2）	臓器別疾患（子宮・卵巣）	講義	
6（2）	臓器別疾患（骨盤内炎症・不育症）	講義	
7（2）	機能的疾患（月経異常・更年期・不妊症）	講義	
8（1）	まとめ	試験	
成績評価方法 筆記試験			
テキスト・参考書 末岡 浩他：専門分野Ⅱ 成人看護学〔9〕女性生殖器，医学書院.			
その他			

病態生理学Ⅵ 歯科・口腔		開講学年：第 3 学年 開講学期：前期 単 位 数：1 単位 2 0 時間（1 0 時間） ＊女性生殖器疾患 1 0 時間と合わせて 2 0 時間 開講形態：講義 週割当時間： 1 時間	
分 野 専門基礎分野 疾病の成り立ちと回復の促進			
学習目標 1．系統別疾患の病態と治療、検査について理解することで、健康・疾病に関する観察力・判断力を養い、看護に活用できる。			
回数 及び時間	授 業 内 容	方法	備考
1（1）	歯科概論	講義	
2（1）	歯・口腔の構造と機能	講義	
3（2）	歯・口腔疾患で生じる主な症状	講義	
4（2）	歯・口腔疾患の主な検査と治療法	講義	
6（2）	歯・口腔疾患の診療	講義	
8（2）	口腔ケア演習	講義	
9（1）	まとめ	試験	
成績評価方法 筆記試験			
テキスト・参考書 道 徳一他：専門分野Ⅱ 成人看護学⑭〔第 2 7 巻〕歯・口腔，メヂカルフレンド社.			
その他			

微生物学		開講学年：第 1 学年	
担当：錫谷 達夫（大学教授）		開講時期：前期	
		単位数：1 単位 30 時間	
		開講形態：講義	
		週割当時間：3 ～ 4 時間	
分 野 専門基礎分野 疾病の成り立ちと回復の促進			
学習目標			
1. 微生物の特徴と生態の及ぼす影響を知り、感染予防の重要性と消毒滅菌に対して理解する。			
回数及び 時間	授業内容	方法	備考
1（4）	総論（歴史、細菌とは？、感染経路、他）	講義	
2（4）	免疫	講義	
3（4）	総論（感染症成立の 3 要因、滅菌・消毒、ワクチン）	講義	
4（4）	細菌学各論（球菌、腸内細菌）	講義	
5（3）	細菌学各論（桿菌）	講義	
6（3）	細菌学各論（抗酸菌、らせん状菌、クラミジア）、 ウイルス総論	講義	
7（3）	ウイルス各論（DNA ウイルス、RNA ウイルス）	講義	
8（3）	〃 （ 〃 ）	講義	
9（1）	まとめ	試験	
成績評価方法 筆記試験			
テキスト・参考書 ナースのための微生物学 医学書院			
その他			

薬理学		開講学年：第 1 学年	
担当：鈴木 涼子（薬剤師）		開講時期：後期	
		単位数：2 単位 4 5 時間	
		開講形態：講義	
		週割当時間：2 時間	
分 野 専門基礎分野 疾病の成り立ちと回復の促進			
学習目標			
1．疾病の原因や成り立ちを理解し、回復を促進するために必要な知識、観察力を養う。			
2．薬物の作用、効果、性質を学び、薬物が人体に及ぼす影響と薬剤の管理について理解する。			
回数及び 時間	授業内容	方法	備考
1（2）	薬理学総論（漢方薬・添付文書の見方）	講義	
2（2）	輸液製剤、血液に作用する薬物（抗血栓薬を含む）	講義	
3（2）	心臓・血管系に作用する薬物、交感神経作用薬	講義	
4（2）	末梢での神経活動・中枢神経系に作用する薬物	講義	
5（2）	中枢神経系に作用する薬物	講義	
6（2）	1～5回目までのまとめ、ミニテスト	講義	
7（2）	まとめ、抗感染症薬	講義	
8（2）	抗感染症薬、消毒薬、抗がん薬	講義	
9（2）	免疫治療薬、リウマチ薬	講義	
10（2）	7～9回目までのまとめ（ミニテスト）	講義	
11（2）	アレルギー薬、抗炎症薬、痛風薬、片頭痛薬	講義	
12（1）	中間試験	試験	
13（2）	テストの解説、呼吸器領域	講義	
14（2）	消化器領域	講義	
15（2）	生殖器・呼吸器系に作用する薬剤、アレルギー薬	講義	
16（2）	糖尿病治療薬、甲状腺治療薬、 視床下部・下垂体ホルモン、骨粗鬆症治療薬	講義	
17（1）	治療薬としてのビタミン	講義	
18（2）	皮膚科用薬、眼科用薬	講義	
19（2）	まとめ	講義	
20（2）	〃（続き）	講義	
21（2）	〃（薬理学の基礎知識）	講義	
22（2）	薬理学の基礎知識	講義	
23（2）	まとめ	講義	
24（2）	後半のまとめ	講義	
25（1）	まとめ	試験	
成績評価法		筆記試験（中間・終講）	
テキスト・参考書		薬理学 医学書院 今日の治療薬 南江堂	
その他			

栄養学		開講学年：第 1 学年	
		開講時期：後期	
担当：小檜山 富士子（管理栄養士）		単位数：1 単位 30 時間	
		開講形態：講義 実習	
		週割当時間：2 時間	
分 野 専門基礎分野 疾病の成り立ちと回復の促進			
学習目標			
1. 疾病の原因や成り立ちを理解し、回復を促進するために必要な知識、観察力を養う。			
2. 栄養の意義と疾病の回復に必要な治療食について理解する。			
回数及び 時間	授業内容	方法	備考
1（2）	食生活の見直し、人間栄養学、食品成分表の使用	講義	
2（2）	栄養素の種類とはたらき	講義	
3（2）	エネルギー代謝、日本人の食事摂取基準	講義	
4（2）	食品分類と栄養機能食品、特別用途食品、 栄養科マネジメント、栄養評価（身体計測含む）	講義	
5（2）	栄養アセスメント（症例を含む）、臨床栄養の基礎	講義	
6（2）	栄養機能食品と特定保健用食品の発表 チームでの栄養管理、栄養補給法、病院食	講義	
7（2）	消化器疾患患者の栄養食事療法	講義	
8（1）	中間試験	試験	
9（2）	術後食（上部消化管）、分割食の実習	実習	
0（2）	テストの復習、食事療法（高血圧症、脂質異常症）	講義	
1 1（2）	高血圧・脂質異常症の食事療法 調理実習	実習	
1 2（2）	肥満、痛風、慢性腎不全病、透析の各食事	講義	
1 3（2）	CKD ステージⅢの食事療法 調理実習	実習	
1 4（2）	糖尿病の栄養食事療法	講義	
1 5（2）	糖尿病の食事療法の献立作成、高齢者・がんの栄養療法	講義	
1 6（2）	糖尿病の食事療法 調理実習（各自のメニュー）	実習	
1 7（1）	まとめ	試験	
成績評価方法 筆記試験			
テキスト・参考書	栄養学	医学書院	
	別巻 栄養食事療法	医学書院	
	カラーグラフ 食品成分表	実教出版	
	糖尿病治療のための食品交換表	文光堂	
その他			

基礎医学演習		開講学年：第 1 学年 開講時期：前期・後期 単位数　：1 単位　1 5 時間 開講形態：実習 週割当時間：2 時間	
担当：齋藤　利枝（専任教員）			
分　野　　専門基礎分野　　疾病の成り立ちと回復の促進			
学習目標 1．人体の構造と機能を系統立てて学ぶ 2．微生物の特徴と生態の及ぼす影響を知り、感染予防の重要性和消毒滅菌に対して理解する。			
回数及び 時間	授業内容	方法	備考
1（2）	解剖学実習・微生物学実習オリエンテーション	講義	
2（7）	解剖学実習	実習	
3（8）	微生物学実習	実習	
成績評価方法　　出席状況、態度、レポート			
テキスト・参考書	解剖生理学　　医学書院 入門人体解剖学　南江堂 ナースのための微生物学　医学書院		
その他			

社会福祉		開講学年：第2学年	
担当：小池 直子（社会福祉士）		開講学期：前期	
		単位数：2単位 30時間	
		開講形態：講義	
		週割当時間：2時間	
分野 専門基礎分野 健康支援と社会保障制度			
学習目標			
1. 人々に提供される保健・医療・福祉サービスについて理解する。			
2. 看護職と保健・医療・福祉の連携活動について理解する。			
3. 看護の対象に必要な社会資源の活用方法を理解する。			
回数 及び時間	授 業 内 容	方法	備考
1（2）	社会保障制度について	講義	
2（2）	社会福祉の分野とサービス	講義	
3（2）	現代社会の変化と社会保障・社会福祉の動向	講義	
4（2）	介護保険制度について 在宅・施設サービスについて	講義	
5（2）	介護保険制度創設の背景と介護保険の歴史医療保障制度の 沿革 保険給付	講義	
6（2）	成年後見制度、利用者の権利擁護について	講義	
7（2）	障害者福祉 障害者の定義と実態 障害者福祉制度の変遷	講義	
8（2）	障害者総合支援法のサービス体系 法制度について	講義	
9（2）	児童福祉について 児童・高齢・障害に対する施策の GW	講義・GW	
10（2）	生活保護制度の仕組み 生活保護の種類と方法、対策	講義	
11（2）	保険証の種類、高額療養制度、健康保険と国民健康保険	講義	
12（2）	被用者保険、国民保険の被用負担、高齢者医療制度、 医療費の動向について	講義	
13（2）	社会福祉援助の検討課題 社会福祉実践と医療、看護との 連携、職種間連携とは	講義	
14（2）	所得保障制度のしくみ、年金保険制度について、雇用保険	講義	
15（1）	労働者災害補償保険制度について 復習	講義	
16（1）	まとめ	試験	
成績評価方法			
筆記試験			
テキスト・参考書			
福田素生他：専門基礎分野 健康支援と社会保障性制度 社会福祉，医学書院。			
その他			

関係法規		開講学年：第 1 学年	
担当：鈴木 洋子（看護師、保健師、助産師）		開講時期：後期	
国立病院、保健福祉事務所等で 38 年の実務経験		単位数：1 単位 20 時間	
		開講形態：講義	
		週割当時間：2 時間	
分 野 専門基礎分野 健康支援と社会保障制度			
学習目標			
1. 看護業務に携わる者の身分や業務に必要な法令について学ぶ			
2. 看護職と保健、医療、福祉の連携活動について学ぶ			
回数及び 時間	授業内容	方法	備考
1（2）	法の概念（概念、厚生行政のしくみ）	講義	
2（2）	医事法（保健師助産師看護師法）	講義	
3（2）	医事法（看護師等の人材確保の促進に関する法律、医師法）	講義	
4（2）	医療法	講義	
5（2）	医療法、医師法、死産の届出に関する規定	講義	
6（2）	健康増進法、精神保健及び精神障害者福祉に関する法律	講義	
7（2）	母子保健法、母体保護法 学校保健安全法、感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律、がん対策基本法、地域保健法、環境基本法	講義	
8（2）	感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律、 新型インフルエンザ対策特別措置法、予防接種法、検疫法、 医薬品・医療機器等の品質有効性及び安全性の確保等に関する法律 麻薬及び向精神薬取締法	講義	
9（2）	大麻取締法～覚醒剤取締法、健康保険法、国民健康保険法、 高齢者の医療の確保に関する法律、介護保険法	講義	
10（2）	介護保険法、社会福祉法、生活保護法、民生委員法、児童福祉法、 身体障害者福祉法、労働基準法、労働安全衛生法、労働者災害補償保 険法、介護休業等育児または家族介護を行う労働者の福祉に関する法 律）	講義	
11（1）	まとめ	試験	
成績評価方法 筆記試験 社会保険法（高齢者の医療の確保に関する法律、介護保険法、 国民年金法、厚生年金保険法）福祉法（社会福祉法、生活保護法）			
テキスト・参考書 看護関係法令 医学書院 看護六法 新日本法規出版			
その他			

環境と健康　　公衆衛生		開講学年：第 3 学年 開講学期：前期 単 位 数：2 単位　3 0 時間 開講形態：講義 週割当時間：2 時間	
担当：佐藤　隆子（看護師、保健師、助産師） 県立病院、保健福祉事務所等で 33 年の実 務経験			
分野　　専門基礎分野　健康支援と社会保障制度			
学習目標 1．健康の現状や健康を保持するための法令制度や、健康維持の増進を計るための保健活動・ サービス提供機関について理解する。			
回数 及び時間	授 業 内 容	方法	備考
1（2）	公衆衛生の理念（公衆衛生の目的とその方法～健康の概念と主体的健康観）	講義	
2（2）	〃（権利と P H C）	講義	
3（2）	公衆衛生の技術（疫学と健康指標）	講義	
4（2）	医療の動向と医療保障（医療の動向～医療保障制度と医療経済）	講義	
5（2）	公衆衛生と国際化（公衆衛生と国際化～情報公開と生命倫理）	講義	
6（2）	地域保健（地域と健康～地域保健）	講義	
7（2）	母子保健（健やか親子～子育てと家族）	講義	
8（2）	母子保健（リプロダクティブ　ヘルスノライツ～ジェンダー）	講義	
9（1）	まとめ	試験	
1 0（2）	学校保健（学校保健の理念と目的～養護教諭と保健室の機能）	講義	
1 1（2）	成人、老人保健（成人、老人保健～生活機能と保健活動）	講義	
1 2（2）	精神保健（精神保健福祉法と障害者プラン～精神保健福祉の概念と 施策の現状）難病保健	講義	
1 3（2）	環境とは　生活環境の保全（2）	講義	
1 4（2）	生活環境・産業保健（労働者を取り巻く状況）	講義	
1 5（2）	産業保健（労働者の健康状態～産業保健に期待される活動） 感染症・危機管理（感染法）	講義	
1 6（2）	感染法・危機管理（危機管理～災害保健）	講義	
1 7（1）	まとめ	試験	
成績評価方法 筆記試験			
テキスト・参考書 芦野由利子他：専門基礎分野　健康と社会保障制度　公衆衛生，医学書院。 国民衛生の動向，厚生統計協会。			
その他			

現代医療論		開講学年：第 2 学年 開講学期：後期 単 位 数：1 単位 1 5 時間 開講形態：講義 週割当時間： 2 時間	
分野 専門基礎分野 健康支援と社会保障制度			
学習目標 1．医学・医療の歩みから、医療供給体制の現状、現代医療の抱える課題について理解する。			
回数 及び時間	授 業 内 容	方法	備考
1（3）	医学・医療のあゆみ	講義	
2（3）	健康と疾病	講義	
3（3）	医学と医療（医療の本質）	講義	
4（3）	わが国の医療供給体制 医療の現状	講義	
5（3）	現代医療における諸問題（告知、安楽死、高齢社会の問題点 性同一性障害、発達障害）	講義	
6（1）	まとめ	試験	
成績評価方法 筆記試験			

基礎看護学概論		開講学年：第 1 学年 開講学期：前期 単 位 数：1 単位 3 0 時間 開講形態：講義 週割当時間： 2 時間	
担当：高杉 寿江（専任教員） 会津中央病院で 7 年の実務経験			
分野 専門分野 I 基礎看護学			
学習目標 1．看護全体の主要概念を理解し、各看護に共通する看護行為の基本となる知識や技術、態度を学び専門職としての主体性を形成していく基本的能力を養う。			
回数 及び時間	授 業 内 容	方法	備考
1（1）	ガイダンス、看護とはなにか	講義	
2（2）	看護の 3 要素、看護の歴史	講義	
3（2）	日本の看護の歴史	講義	
4（2）	看護の定義（理論家・看護職能団体による定義）	講義	
5（2）	看護の対象の理解（人間・ストレス学説・マズローの欲求段階説）	講義	
6（1）	看護の対象の理解 発達課題 家族	講義	
7（2）	国民の健康状態を理解する GW 解答合わせ	講義・GW	
8（2）	健康とは 社会的健康とは	講義	
9（1）	看護の提供者 看護教育制度	講義	
10（2）	看護職者の就業状況 専門・認定・特定看護師	講義	
11（1）	看護職者の養成制度の課題	講義	
12（1）	看護者の倫理綱領 第 1 3 条を考える	講義	
13（1）	看護者に必要な品行について	GW	
14（1）	看護師の法的責任について	講義	
15（1）	今までの講義の知識確認 過去問プリント・GW	講義・GW	
16（1）	過去問解答・解説	講義	
17（1）	サービスとしての看護 チーム医療	講義	
18（1）	チーム医療 事例から他職種との連携・協働を理解する	講義	
19（2）	看護方式	講義	
20（2）	医療安全	講義	
21（1）	まとめ	試験	
成績評価方法 終講試験			
テキスト・参考書 医学書院：系統看護学講座①看護学概論 医学書院：看護覚え書き決定版 サイオ出版： 実践に生かす看護理論 1 9 日本看護協会出版社：看護の基本となるもの			
その他			

基礎看護学方法論Ⅰ　看護過程		開講学年：第1学年 開講学期：前期 単位数：1単位　30時間 開講形態：講義 週割当時間：2時間	
担当：二瓶　キヨ子（専任教員） 会津中央病院で12年の実務経験			
分野　専門分野Ⅰ　基礎看護学			
学習目標 1．看護過程を構成する要素とそのプロセス、または看護過程を用いることの意義を理解する。 2．問題解決過程やクリティカルシンキング、情報分析の方法、倫理的判断といった看護過程の基盤となる考え方について学ぶ。 3．アセスメント、看護問題の明確化、看護計画、実施、評価といった看護過程の各段階について、その基本的な考え方と実際を学ぶ。 4．看護記録の目的と留意点、その構成について学ぶ。			
回数 及び時間	授　業　内　容	方法	備考
1（1）	看護過程とは	講義	
2（2）	看護過程の5つの構成要素 看護過程の基盤となる力（問題解決過程、倫理的配慮と価値判断）	講義	
3（2）	アセスメントとは	講義	
4（2）	看護上の問題点とは（共同問題）	講義	
5（1）	確認テスト　アセスメントとは	講義	
6（1）	事例：アセスメントとは　GW　まとめ	グループワーク	
7（2）	アセスメント・看護上の問題とは	講義	
8（2）	データベースアセスメント　事例を使って	講義	
9（2）	事例：枠組みを使用してのアセスメント	グループワーク	
10（2）	事例：枠組みを使用してのアセスメント	グループワーク	
11（2）	事例：枠組みを使用してのアセスメント	グループワーク	
12（1）	まとめ	講義	
13（1）	アセスメントまとめ	講義	
14（1）	統合・関連図について	講義	
15（2）	事例を使って関連図を書く	講義	
16（2）	事例を使って関連図を書く　関連図のまとめ	講義	
17（2）	看護目標・看護計画・実施・評価とは	講義	
18（3）	学習支援・看護記録の種類と位置づけ	講義	
19（1）	まとめ	試験	
成績評価方法　筆記試験　出席状況　演習参加状況 テキスト・参考書 医学書院：系統看護学講座　専門Ⅰ　基礎看護技術Ⅰ 阿部俊子　監修：エビデンスに基づく疾患別看護ケア関連図．中央法規 その他			

基礎看護学方法論Ⅱ　ヘルスアセスメント 活動・休息援助技術		開講学年：第 1 学年 開講時期：前期 単 位 数：1 単位　3 0 時間 開講形態：講義・演習 週割当時間：2 時間	
分野　専門分野Ⅰ　基礎看護学			
学習目標 1．ヘルスアセスメントの意義と目的を理解し、実際について学ぶ。 2．活動・休息の基礎知識を理解し、実際について学ぶ。			
回数 及び時間	授業内容	方法	備考
1（2）	活動援助の必要性　姿勢の基礎知識 ボディメカニクスの原理	講義	
2（2）	体位とその目的　体位変換の目的	講義	
3（2）	体位変換の援助 左右・上方への移動　仰臥位から側臥位への移動	演習	
4（2）	体位変換の援助　仰臥位から長座位への移動 長座位から端座位への移動　端座位から立位への移動	演習	
5（2）	車椅子・ストレッチャー　移乗の援助と移送の方法	演習	
6（2）	睡眠と睡眠障害　援助について	講義	
7（2）	ヘルスアセスメント　意義と目的 健康歴とセルフケア能力のアセスメント	講義	
8（2）	フィジカルアセスメントに必要な技術 全身状態・全体印象の把握	講義	
9（2）	バイタルサインの観察とアセスメント 体温、脈拍、呼吸	講義	
10（2）	体温・脈拍・呼吸の観察　グループ練習	演習	
11（2）	血圧（触診法）	講義	
12（2）	血圧（聴診法）	講義	
13（2）	バイタルサインの観察　グループ練習	演習	
14（2）	演習の練習	演習	
15（2）	演習　バイタルサインの観察	演習	
17（1）	まとめ	試験	
成績評価方法　筆記試験 テキスト・参考書　専門Ⅰ　基礎看護技術　Ⅰ・Ⅱ　医学書院 その他			

基礎看護学方法論Ⅲ 環境・食事・排泄		開講学年：第 1 学年 開講学期：前期 単 位 数：1 単位 4 5 時間（2 0 時間） ＊清潔 2 5 時間と合わせて 4 5 時間 開講形態：講義・演習 週割当時間：2 時間	
担当：渡部 裕美子（専任教員） 会津中央病院で 8 年の実務経験			
分野 専門分野Ⅰ 基礎看護学			
学習目標 1. 環境・食事・排泄の基礎知識を養う。			
回数 及び時間	講 義 内 容	方法	備考
1（1）	環境とは：人間と環境	講義	
2（1）	病床環境	講義	
3（2）	ベッドメイキングの意義・目的・注意	講義	
4（2）	食事とは：意義、食形態など食事に関する基礎知識 非経口的栄養摂取・中心静脈栄養法など	講義	
5（2）	ベッドメイキングの練習	演習	
6（2）	食事介助の演習	演習	
7（2）	排泄とは：意義 自然排尿および自然排便の基礎知識	講義	
8（2）	排尿障害のある患者への援助 一時的導尿・持続的導尿	講義	
9（1）	排便を促すための援助 ビデオ	演習	
10（2）	オムツ交換、床上排泄の演習	演習	
11（1）	ベッドメイキングの練習	演習	
12（2）	ベッドメイキングの演習	演習	
15（1）	まとめ	講義	
成績評価方法 筆記試験 テキスト・参考書 専門Ⅰ 基礎看護技術Ⅱ 医学書院 その他			

基礎看護学方法論Ⅲ 清潔・衣生活援助		開講学年：第1学年 開講学期：前期 単位数：1単位45時間（25時間） ＊環境・食事・排泄20時間合わせて45時間 開講形態：講義 週割当時間：2時間	
担当：高橋 とも子（専任教員） 会津中央病院で9年の実務経験			
分野 専門分野Ⅰ 基礎看護学			
学習目標 1. 清潔・衣生活援助の意義・目的・方法を理解し、実践できるようにする。			
回数および時間	講義内容	方法	備考
1（2）	清潔の援助・衣生活 ガイダンス 身体清潔の意義・目的 皮膚の機能を保つためのケア	講義	
2（2）	口腔ケアの実技	講義・演習	
3（2）	手浴・足浴・爪切り 実技	講義・演習	
4（2）	寝衣交換 実技	講義・演習	
5（2）	身体の清潔 全身清拭デモンストレーション 脱衣、顔の清拭 実技	講義・演習	
6（2）	全身清拭（顔～腹部）実技	講義・演習	
7（2）	全身清拭（下肢～背部）、着衣 実技	講義・演習	
8（2）	全身清拭 練習	講義・演習	
9（2）	全身清拭 練習	講義・演習	
10（3）	全身清拭 演習	演習	
11（1）	ベッド上での洗髪効果とリスク、洗髪器具について	講義・演習	
12（2）	体位の工夫と洗髪方法、ベッド上での洗髪 デモ	講義・演習	
13（2）	洗髪 練習	講義・演習	
14（2）	洗髪 練習	講義・演習	
15（3）	洗髪 演習	演習	
16（1）	まとめ 終講試験	試験	
成績評価方法 筆記試験 テキスト・参考書 専門Ⅰ 基礎看護学〔3〕基礎看護技術Ⅱ 医学書院 その他			

基礎看護学方法論Ⅳ 感染防止の技術 安全確保の技術		開講学年：第1学年 開講学期：前期 単位数：1単位 45時間（15時間） ＊呼吸・循環を整える、創傷管理、与薬、症状・生体機能管理技術30時間と合わせて45時間 開講形態：講義・演習 週割当時間：2時間	
担当：堤 千恵（専任教員） 福島県立会津総合病院他で32年の 実務経験			
分野 専門分野Ⅰ 基礎看護学			
学習目標 1. 看護師が感染防止のための実践を行うことの重要性を理解する。 2. 標準予防策・感染経路別予防策を学び、適切に実践できるようにする。 3. 医療器具の管理および環境整備の意義や重要性を理解する。 4. 無菌操作について理解し、正しく実践できるようにする。 5. 安全確保の技術として、リスクアセスメントとその防止のための具体的方法を学ぶ。			
回数 及び時間	授 業 内 容	方法	備考
1（2）	感染防止の基礎知識、標準予防策	講義	
2（1）	標準予防策	演習	
3（1）	洗浄・消毒・滅菌	講義	
4（2）	無菌操作	講義	
5（1）	感染性廃棄物	講義	
6（2）	無菌操作演習	演習	
7（2）	安全確保の基礎知識・誤薬防止	講義	
8（1）	チューブ類の予定外抜去防止、患者誤認防止	講義	
9（2）	転倒転落防止・薬剤放射線暴露の防止	講義	
10（1）	終講試験	試験	
成績評価方法 筆記試験			
テキスト・参考書 専門Ⅰ 基礎看護技術Ⅱ 医学書院			
その他			

基礎看護学方法論Ⅳ 呼吸・循環を整える技術 創傷管理技術 与薬の技術 症状・生体機能管理技術		開講学年：第 1 学年 開講時期：後期 単 位 数：1 単位 4 5 時間（3 0 時間） ＊感染防止、安楽確保の技術 1 5 時間と合わせて 4 5 時間 開講形態：講義・演習 週割当時間：2 時間	
担当：齋藤 利枝（専任教員） 会津中央病院で 14 年の実務経験			
分野 専門分野Ⅰ 基礎看護学			
学習目標 1. 呼吸・循環を整える技術について目的と方法を理解し、援助の実際を学ぶ。 2. 創傷とその治癒のメカニズムを知り、創傷管理技術について学ぶ。 3. 正しい与薬、薬剤の管理方法と援助の実際を学ぶ。 4. 検体検査について理解し、それぞれの検査時の看護の実際を学ぶ。			
回数 及び時間	授業内容	方法	備考
1（2）	呼吸を整える技術 酸素吸入療法の目的、方法と特徴、援助のポイント	講義	
2（2）	酸素ボンベによる方法 取り扱い、残量の計算	講義	
3（2）	吸引の目的、方法 一時的吸引援助のポイント	講義	
4（2）	一時的吸引援助の実際	演習	
5（2）	創傷管理技術 創傷と治癒のメカニズム 治癒のための環境	講義	
6（2）	創傷処置 創洗浄、創保護、包帯法	講義 演習	
7（2）	褥瘡発生のアセスメント、褥瘡予防の援助	講義 演習	
8（2）	与薬の技術 薬物の作用・剤形と吸収経路、看護師の役割	講義	
9（2）	経口与薬、吸入、点眼、点鼻、経皮的与薬、直腸内与薬 援助の基礎・ポイント	講義	
10（2）	注射の方法、種類 注射の準備	講義	
11（2）	皮下注射、皮内注射の実施 基礎・ポイント	講義 演習	
12（2）	筋肉内注射の実施 基礎・ポイント	講義 演習	
13（2）	症状・生体機能管理技術 尿・便・喀痰検査時の看護の実際	講義	
14（2）	血液検査時の看護の実際	講義	
15（2）	採血の練習	演習	
16（1）	まとめ	試験	
成績評価方法 筆記試験 テキスト・参考書 専門Ⅰ 基礎看護技術Ⅱ 医学書院 その他			

基礎看護学方法論Ⅴ 経過別看護		開講学年：第 1 学年 開講学期：後期 単 位 数：2 単位 4 5 時間（1 5 時間） ＊症状別看護 1 5 時間、治療・処置別看護 1 5 時間と合わせて 4 5 時間 開講形態：講義 週割当時間：2 時間	
担当：村岡 由利枝（専任教員） 会津中央病院他施設等で 14 年の 実務経験			
分野 専門分野Ⅰ 基礎看護学			
学習目標 1. 健康障害を持つ対象を理解し、健康状態に応じた看護の考え方とその実際を学ぶ。			
回数 及び時間	授 業 内 容	方法	備考
1（2）	看護における経過とは 生活習慣病とは 予防について	講義	
2（2）	ヘルスプロモーション 急性期の経過の特徴	講義	
3（2）	急性期にある患者の看護 看護の特性	講義	
4（2）	慢性期にある患者の看護 看護の特性	講義	
5（2）	リハビリ期にある患者の看護 看護の特徴	講義	
6（2）	終末期にある患者の看護 看護の特性・ニーズ	講義	
7（2）	DVD「ALSを生きる」	講義	
8（1）	終講試験	試験	
成績評価方法 筆記試験 レポート テキスト・参考書 岩井郁子他：専門分野Ⅰ 基礎看護学〔4〕臨床看護総論，医学書院。 その他			

基礎看護学方法論Ⅴ 症状別看護		開講学年：第 1 学年 開講学期：後期 単 位 数：2 単位 4 5 時間（1 5 時間） ＊経過別看護 1 5 時間、治療・処置別看護 1 5 時間と合わせて 4 5 時間 開講形態：講義 週割当時間：2 時間	
担当：渡部裕美子（専任教員） 会津中央病院で 8 年の実務経験			
分野 専門分野Ⅰ 基礎看護学			
学習目標 1．看護の基本的概念を理解し、各看護に共通する看護行為の基礎となる知識、技術、態度を、 学び、専門分野Ⅱおよび在宅看護論へ発展させる基礎的能力を養う。			
回数 及び時間	授 業 内 容	方法	備考
1（1）	生命維持・日常生活が障害されるは	講義	
2（2）	呼吸障害のある患者の看護	講義	
3（2）	呼吸障害・循環器障害のある患者の看護	講義	
4（2）	循環器・化・排泄障害のある患者の看護	講義	
5（2）	排泄障害のある患者の看護	講義	
6（2）	認知・感覚障害のある患者の看護	講義	
7（2）	感覚障害のある患者の看護	講義	
8（2）	排泄障害のある患者の看護（導尿）	演習	
9（1）	まとめ	試験	
成績評価方法 試験			
テキスト	専門 3 基礎看護学〔4〕臨床看護総論 看護過程に沿った対症看護	医学書院 学研	
その他			

基礎看護学方法論Ⅴ 治療・処置別看護		開講学年：第 1 学年 開講学期：後期 単 位 数：2 単位 4 5 時間（1 5 時間） ＊経過別看護 1 5 時間、症状別看護 1 5 時間、と合わせて 4 5 時間 開講形態：講義 週割当時間：2 時間	
担当：本田 めぐみ（専任教員） 会津中央病院で 13 年の実務経験			
分野 専門分野Ⅰ 基礎看護学			
学習目標 看護の基本的概念を理解し、各看護に共通する看護行為の基礎となる知識、技術、態度を 学び、専門分野Ⅱおよび在宅看護論へ発展させる基礎的能力を養う。			
回数 及び時間	講 義 内 容	方法	備考
1（2）	輸液療法を受ける対象者への看護	講義	
2（2）	輸液療法を受ける対象者への看護	講義	
3（2）	化学療法を受ける対象者への看護	講義	
4（2）	化学療法を受ける対象者への看護	講義	
5（2）	手術療法を受ける対象者への看護（合併症の予防と指導 不安への援助 ボディイメージの変容への援助）	講義	
6（1）	手術療法を受ける対象者への看護（手術・麻酔による影響と 援助 術中の安全管理 ）	講義	
7（1）	手術療法を受ける対象者への看護（術後の疼痛管理 術後合 併症予防 早期回復促進への援助 機能障害と生活制限への援助）	講義	
8（2）	集中治療を必要とする患者の看護	講義	
9（1）	まとめ	試験	
成績評価方法 筆記試験			
テキスト・参考書 基礎看護学〔4〕臨床看護学総論			
その他			

看護研究		開講学年：第 2 学年 開講学期：前期 単 位 数：1 単位 3 0 時間 開講形態：講義 週割当時間：2 時間	
担当：本田 めぐみ（専任教員） 会津中央病院で 13 年の実務経験			
分野 専門分野 I 基礎看護学			
学習目標 看護研究の基礎を理解し、研究論文を完成することができる。			
回数 及び時間	授 業 内 容	方法	備考
1（2）	文章作成	講義	
2（2）	看護研究をする意義 看護研究の捉え方	講義	
3（2）	倫理的配慮について ケーススタディの進め方	講義	
4（2）	振り返りと看護研究の構成要素とケーススタディの進め方	講義	
5（2）	ケーススタディの構成要素と具体的な進め方	講義	
6（2）	ケーススタディの構成要素と具体的な進め方 論文の書き方	講義	
7（2）	看護研究計画書の作成	講義・指導	
8（2）	看護研究計画書の作成	講義・指導	
9（2）	看護研究計画書の作成	講義・指導	
10（8）	発表	発表	
11（4）	学会参加	学会参加	
成績評価方法 ケーススタディ（プロセスから発表）で評価する			
テキスト・参考書 メディカ出版 ナーシング・グラフィカ⑱ 基礎看護学 看護研究			
その他			

フィジカルアセスメント技術		開講学年：第2学年 開講時期：後期 単位数　：1単位　15時間 開講形態：講義 週割当時間：2時間	
担当：齋藤　利枝（専任教員） 会津中央病院で14年の実務経験			
分野　　専門分野Ⅰ　基礎看護学			
学習目標 1．フィジカルアセスメントとは何か、その内容、看護における意義を理解する。 2．胸部・肺、心臓・循環系、腹部・消化器系、筋・骨格系の基本的な構造と機能を理解する。 3．胸部・肺、心臓・循環系、腹部・消化器系、筋・骨格系のアセスメントについて、何をみるのか、ポイントと正常所見、異常所見を理解する。			
回数 及び時間	授業内容	方法	備考
1（2）	フィジカルアセスメントとは 胸部・肺のアセスメント　基本的構造と機能	講義	
2（2）	胸部・肺のアセスメント　呼吸音の聴診	講義・演習	
3（2）	胸部・肺のアセスメント　呼吸系フィジカルアセスメントの内容と進め方　事例	講義・演習	
4（2）	胸部・肺のフィジカルアセスメントまとめ 腹部・消化器系のアセスメント	講義・演習	
5（1）	腹部・消化器系のアセスメント 聴診～腸蠕動音の聴診とそのポイント	講義・演習	
6（1）	腹部・消化器系のアセスメント　事例　問診、視診	講義・演習	
7（1）	腹部・消化器系のアセスメント　事例　視診、触診	講義・演習	
8（1）	末梢循環系のフィジカルアセスメント	講義・演習	
9（1）	末梢循環系のフィジカルアセスメント	講義・演習	
10（1）	まとめ	試験	
成績評価方法　　　　　演習状況 筆記試験			
テキスト・参考書　　　はじめてのフィジカルアセスメント　　　メヂカルフレンド社			
その他			

基礎看護学Ⅰ実習		開講学年：第1学年 開講時期：前期・後期 単位数：1単位 45時間 開講形態：実習 週割当時間：37.5時間	
担当：齋藤 利枝（専任教員） 会津中央病院で14年の実務経験			
分野 専門分野Ⅰ 臨地実習			
目的 看護の対象としての人間を理解し、日常生活援助の必要性が理解できる。			
目標 1. 患者とその患者を取り巻く環境が理解できる。（5月） 2. 日常生活援助の必要性が理解できる。（11月）			
回数 及び時間	実習内容	方法	備考
15時間	見学実習	実習	5月
30時間	病院で患者を1名受け持ち、日常生活の援助を行う。	実習	12月
実習施設 会津中央病院 病棟			
成績評価方法 出席状況、実習態度、実習記録などにより総合的に評価する。			
テキスト・参考書 指定しない、各自、関連する文献を活用する。			
その他			

基礎看護学Ⅱ実習		開講学年：第2学年 開講時期：前期 単位数　：2単位　90時間 開講形態：実習 週割当時間：37.5時間	
担当：齋藤　利枝（専任教員） 会津中央病院で14年の実務経験			
分　野　　専門分野Ⅰ　臨地実習			
目　的 対象の基本的欲求を把握して、個別に合わせた援助ができる。			
目　標 1．基本的欲求の把握ができる。 2．受け持ち患者の基本的欲求に合った援助ができる。 3．受け持ち患者の診察と検査に伴う援助ができる。			
回数 及び時間	実習内容	方法	備考
90時間	1.患者の基本的欲求に関する情報収集ができる。 2.援助の必要性を理解し、看護技術が実施できる。 3.行った援助を評価し、患者により適した方法を考えられる。 4.診察・検査に伴う援助技術が実施できる。	実習	
実習施設 会津中央病院　病棟 町立猪苗代病院　病棟			
成績評価方法 出席状況、実習態度、実習記録などにより総合的に評価する。			
テキスト・参考書 指定しない、各自、関連する文献を活用する。			
その他			

成人看護学概論		開講学年：第 1 学年	
担当：村岡 由利枝（専任教員）		開講学期：後期	
会津中央病院他施設等で 14 年の実務経験		単 位 数：2 単位 4 5 時間	
		開講形態：講義	
		週割当時間：2 時間	
分野 専門分野Ⅱ 成人看護学			
学習目標			
1. 成人期にある対象の生物学的、心理学的、生活形態的特徴について理解する。			
2. 成人看護の対象により、看護の目的が変わる状況について理解する。			
3. 成人看護の目的と機能を理解する。			
4. 発達段階から対象を捉え看護学を発展させることができる。			
5. 成人期にある対象の健康に影響する因子を理解し、健康を維持や予防・回復・促進・増進をするための看護の役割について理解する。			
6. 健康障害がある成人期の特徴について理解する。			
7. 疾病・障害や治療に伴う対象の急激な身体変化や心身の反応、日常生活や生命維持が困難な対象およびその家族の看護問題を理解する。			
8. 成人看護の基礎的能力を習得する。			
回数 及び時間	授 業 内 容	方法	備考
1（2）	成人看護学の位置づけ 成人とは	講義	
2（4）	成人看護学が対象とする人の理解 成人各期の特徴	GW	
3（1）	成人各期の健康問題	講義	
4（2）	雇用形態 家族の形態 形態変化に伴う問題	講義	
5（2）	栄養・食生活の特徴	講義	
6（2）	生活習慣に関連する健康障害－生活習慣病	講義	
7（2）	職業に関連する健康問題－業務上疾病	講義	
8（2）	大人の生活から捉える健康	講義	
9（1）	生活ストレスと看護	講義	
10（2）	中間試験	試験	
11（1）	意思決定支援	講義	
12（2）	DVD	講義	
13（1）		講義	
14（2）	医療場面における倫理上の課題を生じやすい場面 倫理の原則	講義	
15（2）	DVD	DVD	
16（2）	セクシュアリティ 性感染症 大人の学習	講義	
17（1）	中間試験	試験	
18（1）	人生の最期のときを支える看護 デスエデュケーション	講義	
19（1）	エンゼルケア DVD	DVD	
20（2）	演習に向けてのエンゼルケアのシナリオづくり	演習	

21（2）	エンゼルケア演習（練習）	演習	
22（2）	エンゼルケア演習	演習	
23（2）	急激な健康破綻に陥った人の看護	講義	
24（2）	自己効力を高めるアプローチ法	講義	
25（2）	障害をもつ人の障害の認識過程	講義	
26（2）	DVD	DVD	
27（1）	まとめ	試験	
成績評価方法			
筆記試験 レポート			
テキスト・参考書			
小松浩子他：専門分野Ⅱ 成人看護学〔1〕成人看護学概論，医学書院. 国民衛生の動向，厚生統計協会.			
その他			

成人看護学方法論Ⅰ 運動器看護		開講学年：第１学年 開講学期：後期 単 位 数：１単位３０時間（１５時間） ＊呼吸器看護１５時間と合わせて３０時間 開講形態：講義 週割当時間：２時間	
担当：高橋 とも子（専任教員） 会津中央病院で９年の実務経験			
分野 専門分野Ⅱ 成人看護学			
学習目標 １．健康障害のある成人期の特徴について理解する。 ２．成人期にある人々の生活機能障害とそれに伴う心身の反応、社会生活、家族に及ぼす影響を理解する。 ３．生活機能障害から回復適応への援助技術を習得する。 ４．成人期の健康障害をもつ対象を理解し、適切な看護を行うための基礎的知識を習得する。			
回数 及び時間	授 業 内 容	方法	備考
１（１）	運動器疾患を持つ患者の身体的問題、運動器看護の基礎知識	講義	
２（１）	運動器看護の基礎知識（関節可動域・良肢位・MMT）	演習	
３（１）	骨折の特徴と主な合併症と看護	講義	
４（１）	鎖骨骨折患者の看護	講義・演習	
５（２）	上腕骨顆上骨折患者の看護	講義	
６（１）	腰椎椎間板ヘルニア患者の看護	講義	
７（２）	大腿骨頸部骨折患者の看護	講義	
８（１）	変形性股関節症患者の看護	講義	
９（２）	脊髄損傷患者の看護	講義	
１０（１）	四肢切断患者の看護	講義	
１１（１）	関節リウマチ患者の看護	講義	
８（１）	まとめ 試験	試験	
成績評価方法 レポート評価・筆記試験 テキスト・参考書 医学書院 系統看護学講座 基礎分野Ⅱ 成人看護学１０ 運動器 その他			

成人看護学方法論Ⅰ 呼吸器看護		開講学年：第１学年 開講学期：後期 単位数：１単位３０時間（１５時間） ＊運動器看護１５時間と合わせて３０時間 開講形態：講義 週割当時間：２時間	
担当：五十嵐 真（看護師） 会津中央病院で１４年の実務経験			
分野 専門分野Ⅱ 成人看護学			
学習目標 １．健康障害がある成人期の特徴について理解する。 ２．成人期にある人々の生活機能障害とそれに伴う心身の反応、社会生活、家族に及ぼす影響を理解する。 ３．生活機能障害から回復適応への援助技術を習得する。 ４．成人期の健康障害をもつ対象を理解し、適切な看護を行うための基礎的知識を習得する。			
回数 及び時間	授 業 内 容	方法	備考
１（２）	症状のある患者の看護	講義	
２（２）	検査を受ける患者・治療、処置を受ける患者の看護	講義	
３（２）	疾患を持つ患者の看護 １	講義	
４（２）	疾患を持つ患者の看護 ２	講義	
５（２）	フィジカルアセスメント	演習	
６（２）	呼吸リハビリテーション	演習	
７（２）	集中ケア認定看護師とは	講義	
８（１）	まとめ	試験	
成績評価方法 筆記試験 テキスト・参考書 浅野浩一郎他：専門分野Ⅱ 成人看護学〔２〕呼吸器，医学書院. その他			

成人看護学方法論Ⅱ 救急看護		開講学年：第2学年 開講学期：前期 単位数：2単位45時間（15時間） ＊脳外科看護15時間、循環器看護15時間と合わせて45時間 開講形態：講義 週割当時間：2時間	
担当：本田 めぐみ（専任教員） 会津中央病院で13年の実務経験 伊藤 和也（看護師） 会津中央病院他で20年の実務経験			
分野 専門分野Ⅱ 成人看護学			
学習目標 多様な役割を担う成人期にある対象を総合的に理解し、そして対象に起きている健康問題を多角的に捉え、個々人に適した看護を提供できるよう、成人看護の意義と課題について理解する。			
回数 及び時間	授 業 内 容	方法	備考
1（1）	救命救急医療	講義	
2（1）	救急看護とは	講義	
3（1）	一次・二次・三次救命医療	講義	
4（1）	プレホスピタルケア 救急救命士制度	講義	
5（1）	Bystander	講義	
6（1）	BLS ACLSについて 救急薬品	講義	
7（1）	災害時の役割 トリアージタッグ	講義	
8（1）	ショック	講義	
9（1）	救急看護の実際	講義	
10（1）	重症患者・家族の反応	講義	
11（2）	外傷看護	講義	
12（1）	熱傷看護	講義	
13（2）	BLS の実際	演習	
14（1）	試験		
成績評価方法 筆記試験 テキスト・参考書 医学書院 別巻 救急看護学 その他			

成人看護学方法論Ⅱ 脳神経看護		開講学年：第2学年 開講学期：前期 単位数：2単位45時間（15時間） ＊救急看護15時間、循環器看護15時間と合わせて45時間 開講形態：講義 週割当時間：2時間	
担当：村岡由利枝（専任教員） 会津中央病院他施設等で14年の 実務経験			
分野 専門分野Ⅱ 成人看護学			
学習目標 多様な役割を担う成人期にある対象を総合的に理解し、そして対象に起きている健康問題を 多角的に捉え、個々人に適した看護を提供できるよう、成人看護の意義と課題について理解 する。			
回数 及び時間	授 業 内 容	方法	備考
1（2）	患者の概況、脳の構造と機能	講義	
2（2）	脳の血管系の理解 意識障害、頭蓋内圧亢進症状、脳ヘルニアの理解	講義	
3（2）	運動麻痺のある患者の看護 運動麻痺と障害部位の関連 事例に対する看護を考える～運動障害の強い患者	講義	
4（2）	運動麻痺のある患者の看護 事例に対する看護を考える ・身体認識のできない患者 嚥下障害のある患者の看護 嚥下障害と障害部位の関連	講義	
5（2）	嚥下障害のある患者の看護 事例（3例）に対する看護	講義	
6（2）	検査を受ける患者の看護 CT、脳血管撮影、脳脊髄液検査	講義	
7（2）	言語障害のある患者の看護 まとめ	講義	
8（1）	終講試験	試験	
成績評価方法 筆記試験 テキスト・参考書 医学書院 系統看護学講座 基礎分野Ⅱ 成人看護学 脳・神経 その他			

成人看護学方法論Ⅱ 循環器看護		開講学年：第2学年 開講学期：前期 単位数：2単位45時間（15時間） ＊救急看護15時間、脳外科看護15時間と合わせて45時間 開講形態：講義 週割当時間：2時間	
担当：本田 めぐみ（専任教員） 会津中央病院で13年の実務経験			
分野 専門分野Ⅱ 成人看護学			
学習目標 多様な役割を担う成人期にある対象を総合的に理解し、そして対象に起きている健康問題を多角的に捉え、個々人に適した看護を提供できるよう、成人看護の意義と課題について理解する。			
回数 及び時間	授 業 内 容		方法 備考
1（1）	解剖生理 刺激伝導系 ポンプ機能		講義
2（1）	解剖生理 心周期 心音		講義
3（1）	検査 心電図とは		講義
4（2）	不整脈		講義
5（1）	検査 胸部レントゲン（心胸郭比 胸水 うっ血像などの見方）心エコー		講義
6（1）	検査 心臓カテーテル検査		講義
7（1）	検査 心臓カテーテル検査と看護		講義
8（1）	看護 心臓リハビリテーション		講義
9（2）	看護 心不全の看護		講義
10（2）	看護 冠状動脈疾患患者の看護		講義
11（1）	看護 動脈・静脈の看護		講義
12（1）	まとめ		講義
成績評価方法 筆記試験 テキスト・参考書 医学書院 系統看護学講座 基礎分野Ⅱ 成人看護学 循環器 その他			

成人看護学方法論Ⅲ 外科疾患		開講学年：第 2 学年 開講学期：前期 単 位 数：2 単位 4 5 時間（1 5 時間） ＊外科看護 1 0 時間、消化器看護 1 0 時間、腎看護 1 0 時間と合わせて 4 5 時間 開講形態：講義 週割当時間：2 時間	
分野 専門分野Ⅱ 成人看護学			
学習目標 多様な役割を担う成人期にある対象を総合的に理解し、そして対象に起きている健康問題を多角的に捉え、個々人に適した看護を提供できるよう、成人看護の意義と課題について理解する。			
回数 及び回数	授 業 内 容	方法	備考
1（1）	手術侵襲と生体の反応、炎症、腫瘍	講義	
2（2）	甲状腺腫瘍、乳がん	講義	
3（2）	食道がん、胃・十二指腸潰瘍、胃がん	講義	
4（2）	イレウス、大腸・直腸がん	講義	
5（2）	肝がん、胆嚢がん、胆管がん	講義	
6（2）	膵がん	講義	
7（2）	創傷管理	講義	
8（2）	麻酔について	講義	
9（1）	まとめ	試験	
成績評価方法 筆記試験 テキスト・参考書 医学書院 別巻 臨床外科看護総論・臨床外科看護各論 その他			

成人看護学方法論Ⅲ 外科看護		開講学年：第 2 学年 開講学期：後期 担当：山岸 由美子（看護師） 単 位 数：2 単位 4 5 時間（1 0 時間） ＊外科疾患 1 5 時間、消化器看護 1 0 時間、腎看護 1 0 時間と合わせて 4 5 時間 開講形態：講義 週割当時間：1 時間	
分野 専門分野Ⅱ 成人看護学			
学習目標 1．多様な役割を担う成人期にある対象を総合的に理解し、胸部疾患や消化器疾患の、外科的治療を受ける患者の周手術期看護について理解する。			
回数 及び時間	授 業 内 容	方法	備考
1（2）	術前・術後の看護	講義	
2（1）	ドレーン管理	講義	.
3（1）	甲状腺疾患・術前後の看護	講義	
4（1）	乳房疾患・術前後の看護	講義	
5（2）	上部消化管・術前後の看護	講義	
6（2）	下部消化管・術前後の看護	講義	
7（1）	終講試験	試験	
成績評価方法 筆記試験 テキスト・参考書 医学書院 別巻 臨床外科看護総論・臨床外科看護各論 その他			

成人看護学方法論Ⅲ 消化器看護		開講学年：第 2 学年 開講学期：後期 担当：堤 千恵（専任教員） 単 位 数：2 単位 4 5 時間（1 0 時間） ＊外科疾患 1 5 時間、外科看護 1 0 時間、腎看護 1 0 時間と合わせて 4 5 時間 開講形態：講義 週割当時間： 2 時間	
分野 専門分野Ⅱ 成人看護学			
学習目標 1. 多様な役割を担う成人期にある対象を総合的に理解し、消化器疾患を持つ患者の看護について理解する。			
回数 及び時間	授 業 内 容	方法	備考
1（2）	主な消化器症状と看護	講義	
2（2）	主な疾患と看護（上部消化管）	講義	
3（2）	〃（下部消化管）	講義	
4（1）	〃（肝臓）	講義	
5（1）	〃（胆嚢）	講義	
6（1）	〃（膵臓）	講義	
7（1）	終講試験	試験	
成績評価方法 筆記試験			
テキスト・参考書 医学書院 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学 消化器			
その他			

成人看護学方法論Ⅲ 腎看護		開講学年：第 2 学年 開講学期：後期 担当：五十嵐 伸二（看護師） 単 位 数：2 単位 4 5 時間（1 0 時間） ＊外科疾患 1 5 時間、外科看護 1 0 時間、消化器看護 1 0 時間と合わせて 4 5 時間 開講形態：講義 週割当時間：2 時間	
分野 専門分野Ⅱ 成人看護学			
学習目標 多様な役割を担う成人期にある対象を総合的に理解し、そして対象に起きている健康問題を多角的に捉え、個々人に適した看護を提供できるよう、成人看護の意義と課題について理解する。			
回数 及び時間	授 業 内 容	方法	備考
1（2）	腎臓の構造と機能	講義	
2（1）	透析治療の歴史	講義	
3（2）	症状と検査	講義	
4（1）	慢性腎不全における治療 人工透析①	講義	
5（1）	人工透析② 慢性・急性腎不全治療法 シェントまで	講義	
6（1）	人工透析③ 慢性腎不全治療 透析のまとめ	講義	
7（1）	食事 運動 その他症状	講義	
8（1）	腎臓疾患の看護、検査の看護	講義	
9（1）	まとめ	試験	
成績評価方法 筆記試験 テキスト・参考書 医学書院 系統看護学講座 基礎分野Ⅱ 成人看護学 腎・泌尿器 その他			

成人看護学方法論Ⅳ 内分泌、代謝看護		開講学年：第 2 学年 開講学期：後期 担当：西郷 和枝（看護師） 単 位 数：2 単位 4 5 時間（1 5 時間） ＊泌尿器看護 1 0 時間、アレルギー・膠原病看護 5 時間、放射線 7 時間、看護過程 8 時間で合わせて 4 5 時間 開講形態：講義 演習 週割当時間：2 時間	
分野 専門分野Ⅱ 成人看護学			
学習目標 多様な役割を担う成人期にある対象を総合的に理解し、そして対象に起きている健康問題を多角的に捉え、個々人に適した看護を提供できるよう成人看護の意義と課題について理解する。			
回数 及び時間	授 業 内 容	方法	備考
1（2）	内分泌・代謝疾患の看護	講義	
2（2）	下垂体疾患患者の看護	講義	
3（1）	甲状腺・副甲状腺疾患患者の看護	講義	
4（2）	代謝疾患患者の看護 肥満症	講義	
5（2）	糖尿病患者の看護 セルフケア	講義	
6（2）	〃 ライフステージ別課題と患者教育 教材作成・発表	講義	
7（2）	演習：自己血糖測定 インスリン自己注射	演習	
8（1）	まとめ	試験	
成績評価方法 筆記試験 演習参加態度 レポート テキスト・参考書 医学書院 系統看護学講座 基礎分野Ⅱ 成人看護学 内分泌・代謝 その他			

成人看護学方法論Ⅳ 泌尿器看護		開講学年：第 2 学年 開講学期：後期 担当：馬場 園実（看護師） 単 位 数：2 単位 4 5 時間（1 0 時間） ＊内分泌・代謝看護 1 5 時間、アレルギー・膠原病看護 5 時間、放射線 7 時間、看護過程 8 時間で合わせて 4 5 時間 開講形態：講義 週割当時間：2 時間	
分野 専門分野Ⅱ 成人看護学			
学習目標 多様な役割を担う成人期にある対象を総合的に理解し、そして対象に起きている健康問題を多角的に捉え、個々人に適した看護を提供できるよう、成人看護の意義と課題について理解する。			
回数 及び時間	授 業 内 容	方法	備考
1（1）	構造と機能	講義	
2（1）	患者の看護 血尿	講義	
3（1）	〃 尿失禁	講義	
4（2）	〃 尿路感染症 前立腺肥大症	講義	
5（2）	〃 癌 膀胱全摘・尿路変更術	講義	
6（1）	〃 尿路結石症	講義	
7（1）	発生・発育の異常 不妊症 機能障害	講義	
8（1）	化学療法・放射線療法を受ける患者の看護	講義	
10（1）	まとめ	試験	
成績評価方法 筆記試験 テキスト・参考書 医学書院 系統看護学講座 基礎分野Ⅱ 成人看護学 腎・泌尿器 その他			

成人看護学方法論Ⅳ アレルギー・膠原病看護		開講学年：第 2 学年 開講学期：後期 単 位 数：2 単位 4 5 時間（5 時間） ＊内分泌・代謝看護 1 5 時間、泌尿器看護 1 0 時間、放射線 7 時間、看護過程 8 時間で合わせて 4 5 時間 開講形態：講義 週割当時間： 2 時間	
分野 専門分野Ⅱ 成人看護学			
学習目標 多様な役割を担う成人期にある対象を総合的に理解し、そして対象に起きている健康問題を多角的に捉え、個々人に適した看護を提供できるよう、成人看護の意義と課題について理解する。			
回数 及び時間	授 業 内 容	方法	備考
1（1）	アレルギー疾患の振り返り アレルギーとは 検査	講義	
2（2）	アレルギー患者の看護	講義	
3（1）	膠原病とは S L E 患者の看護	講義	
4（1）	強皮症の患者の看護	講義	
5（1）	まとめ	試験	
成績評価方法 筆記試験 テキスト・参考書 医学書院 系統看護学講座 基礎分野Ⅱ 成人看護学 アレルギー・膠原病 感染 その他			

成人看護学方法論Ⅳ 放射線		開講学年：第 2 学年 開講学期：前期 単 位 数：2 単位 4 5 時間（7 時間） ＊ 内分泌・代謝看護 1 5 時間、泌尿器看護 1 0 時間、アレルギー・ 膠原病看護 5 時間、看護過程 8 時間で合わせて 4 5 時間 開講形態：講義 週割当時間：2 時間	
分野 専門分野Ⅱ 成人看護学			
学習目標 多様な役割を担う成人期にある対象を総合的に理解し、そして対象に起きている健康問題を 多角的に捉え、個々人に適した看護を提供できるよう、成人看護の意義と課題について理解 する。			
回数 及び時間	授 業 内 容	方法	備考
1（1）	放射線の基礎（言葉の意味 エックス線の発生）	講義	
2（1）	放射線診断 X 線診断	講義	
3（1）	〃 CT MRI	講義	
4（1）	〃 IVR 血管造影	講義	
5（1）	〃 超音波画像診断	講義	
6（1）	核医学検査	講義	
7（1）	放射線治療	講義	
8（1）	まとめ	試験	
成績評価方法 筆記試験 テキスト・参考書 医学書院 別巻 臨床放射線医学 その他			

成人看護学方法論Ⅳ 看護過程		開講学年：第 2 学年 開講学期：前期 単 位 数：2 単位 4 5 時間（8 時間） ＊ 内分泌・代謝看護 1 5 時間、泌尿器看護 1 0 時間、アレルギー・膠原病看護 5 時間、放射線 7 時間で合わせて 4 5 時間 開講形態：講義・演習 週割当時間：2 時間	
分野 専門分野Ⅱ 成人看護学			
学習目標 1. 多様な役割を担う成人期にある対象を総合的に理解し、そして対象に起きている健康問題を多角的に捉え、個々人に適した看護を提供できるよう、成人看護の意義と課題について理解する。			
回数 及び時間	授 業 内 容	方法	備考
1（2）	看護過程とは	講義	
2（2）	演習 事例で関連図を書く	演習	
3（1）	演習 事例で関連図を書く まとめ	演習	
4（2）	演習 計画立案	演習	
5（1）	まとめ	試験	
成績評価方法 筆記試験 テキスト・参考書 医学書院：系統看護学講座 専門Ⅰ 基礎看護技術Ⅰ 阿部俊子 監修：エビデンスに基づく疾患別看護ケア関連図．中央法規 その他			

成人看護学方法論Ⅴ 女性生殖器看護		開講学年：第3学年 開講学期：前期 単位数：1単位30時間（10時間） ＊感覚器看護10時間、血液看護10時間と合わせて30時間 開講形態：講義 週割当時間：2時間	
担当：渡部 裕美子（専任教員） 会津中央病院で8年の実務経験			
分野 専門分野Ⅱ 成人看護学			
学習目標 多様な役割を担う成人期にある対象を総合的に理解し、そして対象に起きている健康問題を多角的に捉え、個々人に適した看護を提供できるよう、成人看護の意義と課題について理解する。			
回数 及び時間	授 業 内 容	方法	備考
1（2）	診察の介助における看護 性周期と性ホルモン 月経異常患者の看護	講義	
2（2）	月経随伴症状のある患者の看護 グループワーク「6項目」 ①性感染症とその治療・予防、帯下掻痒感のある患者の看護 ②子宮筋腫・子宮がんの病態と治療、その看護 ③不妊症とは、その看護 ④更年期障害とその看護、自律神経失調症・不定愁訴のある患者の看護 ⑤萎縮性膣炎・尿もれのある患者の看護 ⑥外性器・内性器の手術を受ける患者の看護	講義	
3（2）	グループワーク	講義	
4（2）	発表①～③ まとめ	講義	
5（2）	発表④～⑥ まとめ	講義	
6（1）	まとめ	試験	
成績評価方法 筆記試験 テキスト・参考書 医学書院 系統看護学講座 基礎分野Ⅱ 成人看護学 女性生殖器 その他			

成人看護学方法論Ⅴ 感覚器看護		開講学年：第3学年 開講学期：前期 単位数：1単位30時間（10時間） ＊女性生殖器看護10時間、血液看護10時間と合わせて30時間 開講形態：講義 週割当時間：2時間	
担当：高橋 とも子（専任教員） 会津中央病院で9年の実務経験			
分野 専門分野Ⅱ 成人看護学			
学習目標 多様な役割を担う成人期にある対象を総合的に理解し、対象に起きている健康問題を多角的に捉え、個々人に適した看護を提供できるよう、成人看護の意義と課題について理解する。			
回数 及び時間	授 業 内 容	方法	備考
1（1）	皮膚科看護 皮膚の構造 症状 治療法	講義	
2（1）	アトピー性皮膚炎患者の看護	講義	
3（2）	熱傷・褥瘡患者の看護	講義	
4（1）	眼科看護 検査時の看護 白内障患者の看護	講義	
5（1）	糖尿病性網膜症 網膜剥離術後の看護	講義	
6（1）	緑内障患者の看護	講義	
7（1）	耳鼻科看護 鼻出血 副鼻腔炎患者の看護	講義	
8（1）	聴力障害のある患者の看護	講義	
9（1）	めまいのある患者の看護	講義	
10（1）	まとめ	試験	
成績評価方法 筆記試験 テキスト・参考書 メジカルフレンド社 成人看護学⑫⑬ 皮膚/眼 耳鼻咽喉/歯・口腔 その他			

成人看護学方法論Ⅴ 血液看護		開講学年：第3学年 開講学期：前期	
担当：渡部 裕美子（専任教員） 会津中央病院で8年の実務 経験		単 位 数：1単位30時間（10時間） ＊女性生殖器看護10時間、感覚器看護10時間、と合わせて30時間 開講形態：講義 週割当時間：2時間	
分野 専門分野Ⅱ 成人看護学			
学習目標 多様な役割を担う成人期にある対象を総合的に理解し、そして対象に起きている健康問題を 多角的に捉え、個々人に適した看護を提供できるよう、成人看護の意義と課題について理解する。			
回数 及び時間	授 業 内 容	方法	備考
1（1）	血液の機能と成分 患者の特徴	講義	
2（1）	主要症状のある患者の看護（貧血）	講義	
3（1）	主要症状のある患者の看護（出血傾向）	講義	
4（1）	主要症状のある患者の看護（易感染）	講義	
5（1）	造血器腫瘍患者の看護 化学療法の主な副作用対応	講義	
6（1）	白血病患者の事例を用いて アセスメント 問題点の抽出 計画立案	講義	
7（1）	造血器腫瘍患者の看護（悪性リンパ腫） 放射線治療における看護	講義	
8（1）	造血幹細胞移植 移植前の患者の看護	講義	
9（1）	移植後の患者の看護	講義	
10（1）	まとめ	試験	
成績評価方法 筆記試験			
テキスト・参考書 医学書院 系統看護学講座 基礎分野Ⅱ 成人看護学 血液・造血			
その他			

老年看護学概論		開講学年：第1学年 開講学期：後期 単位数：1単位30時間 開講形態：講義 週割当時間：2時間	
担当：高杉 寿江（専任教員） 会津中央病院で7年の実務経験			
分野 専門分野Ⅱ 老年看護学			
学習目標			
1. 老年期にある対象の身体的・精神的・社会的変化を知り、老年のライフステージとその健康課題について理解する。			
2. 高齢社会における保健医療福祉の動向と、高齢者の社会保障、権利擁護について理解する。			
3. 加齢に伴う健康状態について学び、老年看護の役割を理解する。			
回数 及び時間	授 業 内 容	方法	備考
1（1）	老年看護学の発展、高齢者に対するイメージ	講義	
2（1）	高齢者に対するイメージのアンケート結果 老年期	講義	
3（1）	加齢に伴う身体機能の変化（症状・疾患を考える）	講義	
4（2）	加齢に伴う身体機能の変化 GW	GW	
5（3）	GWの発表 1～8 G	GW	
6（2）	老年期の身体的・心理的・社会的側面	講義	
7（2）	高齢社会の統計 高齢化・高齢者のいる世帯	講義	
8（2）	高齢者の統計 高齢者の死亡・高齢者の暮らし	講義	
9（2）	保健医療福祉制度の変遷 老人福祉法	講義	
10（2）	実習で感じたこと 健康寿命	講義	
11（2）	健康長寿の秘訣 高齢者の差別	講義	
12（2）	高齢者虐待	講義	
13（2）	身体への拘束	講義	
14（2）	成年後見制度 日常生活自立支援 老年看護の原則	講義	
15（3）	認知症の高齢者の理解・介護 DVD「折り梅」	DVD	
16（1）	まとめ	試験	
成績評価方法			
筆記試験			
テキスト・参考書 専門Ⅱ 老年看護学 医学書院 国民衛生の動向 厚生労働白書			
その他			

老年看護学方法論Ⅰ 日常看護		開講学年：第2学年 開講学期：前期 単位数：2単位45時間 開講形態：講義 週割当時間：2時間	
担当：堤 千恵（専任教員） 福島県立会津総合病院他で32年の実務経験			
分野 専門分野Ⅱ 老年看護学			
学習目標 1. 加齢に伴う高齢者の生活と健康状態の変化について理解する。 2. 高齢者の生活機能をを整える看護について理解する。 3. 高齢者に特有な疾患・症状障害を学び、健康逸脱からの回復を促す看護について理解する。 4. 治療を必要とする高齢者の看護について理解する。			
回数 及び時間	授 業 内 容	方法	備考
1（1）	高齢者の特性（老年看護学概論の振り返り）	講義	
2（2）	高齢者の身体機能の変化とアセスメント（皮膚／感覚器）	講義	
3（2）	〃（循環器／呼吸器）	講義	
4（2）	〃（消化器／ホルモン）	講義	
5（2）	〃（泌尿生殖器／運動器）	講義	
6（2）	高齢者によく見られる身体症状とアセスメント（7項目）	GW	
7（2）	〃	発表	
8（2）	日常生活を支える基本的活動（基本動作／転倒）	講義／DVD	
9（2）	高齢者疑似体験	演習	
10（2）	日常生活を支える基本的活動（食生活）	講義／DVD	
11（2）	高齢者の食事と援助	演習	
12（1）	中間試験	試験	
13（2）	日常生活を支える基本的活動（他、6項目）	GW	
14（2）	〃	発表	
15（2）	検査・治療を受ける高齢者への看護	講義	
16（2）	〃	講義	
17（2）	疾患を持つ高齢者への看護（脳血管障害／心不全／肺炎）	講義	
18（2）	〃（パーキンソン病／骨粗鬆症）	講義	
19（2）	認知症患者の看護	講義	
20（2）	〃	講義／DVD	
21（2）	老年患者の看護過程の展開（紙上事例）	GW	
22（2）	〃	GW	
23（2）	国家試験対策	講義	
24（1）	終講試験	試験	
成績評価方法 演習、GW 参加状況、筆記試験 テキスト・参考書 専門Ⅱ 老年看護学 医学書院			

老年看護学方法論Ⅱ 看護の展開		開講学年：第2学年 開講学期：後期 単位数：1単位30時間（15時間） ＊看護の展開15時間（高杉）と合わせて30時間 開講形態：講義 週割当時間：2時間	
担当：荒明 喜代子（看護師） 会津中央病院で33年の実務経験			
分野 専門分野Ⅱ 老年看護学			
学習目標 1. 生活・療養の場における看護の展開を理解できる。 2. 高齢者のリスクマネジメントについて理解できる。			
回数 及び時間	授 業 内 容	方法	備考
1（2）	在宅高齢者への看護 介護予防と看護	講義	
2（2）	地域での介護予防活動と看護職の役割、訪問看護	講義	
3（2）	地域包括ケア、保健医療福祉における看護	講義	
4（1）	急性期治療に求められる看護の役割	講義	
5（2）	退院に向けた取り組み	講義	
6（2）	回復期から維持期への連携、療養生活を支える保健医療福祉	講義	
7（2）	介護を必要とする高齢者を含む家族への看護	講義	
8（1）	まとめ	講義	
9（1）	まとめ	試験	
成績評価方法 筆記試験			
テキスト・参考書 専門Ⅱ 老年看護学 医学書院			
その他			

老年看護学Ⅱ 看護の展開		開講学年：第2学年 開講学期：後期 単位数：1単位30時間（15時間） ＊看護の展開15時間（荒明）と合わせて30時間 開講形態：講義 週割当時間：2時間	
担当：堤 千恵（専任教員） 福島県立会津総合病院他で32年の実務経験			
分野 専門分野Ⅱ 老年看護学			
学習目標 1. 治療を必要とする高齢者の看護を理解する。			
回数 及び時間	授 業 内 容	方法	備考
1（2）	自分の老後を考える・座位・食事時のポジショニング	講義	
2（2）	エンドオブライフケア・意思決定への支援 末期段階に求められる援助	講義	
3（2）	施設見学のOR・高齢者のレクリエーションを考える	講義	
4（2）	高齢者のレクリエーションを考える	講義	
5（2）	施設の実際を見学	講義	
6（2）	〃	講義	
7（2）	〃	講義	
8（1）	試験	試験	
成績評価方法 筆記試験 テキスト・参考書 専門Ⅱ 老年看護学 医学書院 その他			

小児看護学概論		開講学年：第1学年 開講学期：後期 単位数：1単位30時間 開講形態：講義・GW・演習 週割当時間：2時間	
担当：鈴木 洋子(看護師、保健師、助産師) 国立病院、保健福祉事務所等で38年実務経験			
分野 専門分野Ⅱ 小児看護学			
学習目標 1. 小児看護の理念、および子どもの健康を支える小児看護の役割を理解する。 2. 子どもの成長発達、人格発達、社会性の発達を知り、子どもへの理解を深められる。			
回数 及び時間	授 業 内 容	方法	備考
1(2)	小児看護の目的・方向性、小児と家族の諸統計	講義	
2(2)	成長・発達論 成長発達に影響する因子	講義	
3(2)	成長発達の評価	講義	
4(2)	新生児の生理とアセスメント 育児	講義	
5(2)	乳児の成長発達	講義	
6(2)	乳児の栄養	講義	
7(2)	幼児の成長発達 学童期の成長発達	講義	
8(2)	幼児の栄養	講義	
9(1)	中間試験	試験	
10(2)	子どもの栄養	講義	
11(2)	学童、思春期・青年期の栄養	講義	
12(2)	思春期・青年期の成長発達	講義	
13(2)	子どもと家族を取り巻く社会、児童福祉法とその歴史	講義	
14(2)	母子保健について	講義	
15(2)	予防接種、学校保健、特別支援教育、臓器移植法	講義	
16(2)	家族アセスメント 小児看護の特徴と理念	講義	
17(1)	終講試験	試験	
成績評価方法 筆記試験 テキスト・参考書 小児看護学概論・小児臨床看護総論 医学書院 国民衛生の動向 厚生労働統計協会 その他			

小児看護学方法論Ⅰ 疾患各論		開講学年：第2学年 開講学期：前期 単位数：2単位45時間（30時間） ＊臨床看護総論15時間と合わせて45時間 開講形態：講義 週割当時間：1～2時間	
分野 専門分野Ⅱ 小児看護学			
学習目標 1. さまざまな小児疾患と治療の特徴を理解する。 2. さまざまな発達段階にある子どもの健康障害の特徴を理解する。			
回数 及び時間	授 業 内 容	方法	備考
1（3）	感染症疾患と予防接種	講義	
2（2）	循環器疾患	講義	
3（2）	消化器疾患	講義	
4（2）	血液・造血器疾患	講義	
5（2）	腎・泌尿器系の疾患	講義	
6（2）	神経系の疾患	講義	
7（1）	運動器疾患	講義	
8（1）	皮膚疾患	講義	
9（1）	眼疾患	講義	
10（1）	耳鼻咽喉疾患	講義	
11（1）	精神疾患	講義	
12（1）	事故	講義	
13（1）	虐待	講義	
14（3）	新生児疾患と集中治療	講義	
15（1）	代謝性疾患	講義	
16（1）	内分泌疾患	講義	
17（2）	アレルギー疾患	講義	
18（1）	リウマチ性疾患	講義	
19（1）	免疫不全	講義	
20（1）	腹痛性疾患	講義	
21（1）	まとめ 試験	試験	
成績評価方法 筆記試験 テキスト・参考書 小児看護各論 医学書院 こどもの病気の地図帳 講談社 その他			

小児看護学方法論Ⅰ 臨床看護総論		開講学年：第2学年 開講学期：前期 単位数：2単位45時間（15時間） ＊疾患各論30時間と合わせて45時間 開講形態：講義 週割当時間：1～2時間	
分野 専門分野Ⅱ 小児看護学			
学習目標 1. 健康障害を持つ子どもと、その家族の特徴を理解する。 2. 基本的な経過別、症状別、治療処置別看護の特徴を理解する。			
回数 及び時間	授 業 内 容	方法	備考
1（2）	小児の成長発達と心理社会的発達 小児の免疫機能の未熟性と予防接種	講義	
2（2）	遊びの発達と小児の身体・精神・社会性の発達 小児の発育過程と食のすすめ方 身体の成熟とバイタルサイン	講義	
3（2）	身体計測の方法と留意 バイタルサインの測定方法と留意 プリパレーションとディストラクション	講義	
4（2）	小児外来の環境と看護の役割	講義	
5（2）	経過別看護（急性期・慢性期・終末期）	講義	
6（2）	症状別看護（発熱時の看護） 治療処置別看護（与薬：経口・坐薬）	講義	
7（1）	症状別看護（脱水） 治療処置別看護（与薬：輸液療法）	講義	
8（1）	治療処置別看護（吸入・吸引・酸素吸入）	講義	
9（1）	まとめ 試験	試験	
成績評価方法 筆記試験 テキスト・参考書 小児看護学概論・小児臨床看護総論 医学書院 写真で分かる小児看護技術 インターメディカ その他			

小児看護学方法論Ⅱ 臨床看護各論		開講学年：第 2 学年 開講学期：後期 単 位 数：1 単位 3 0 時間 開講形態：講義 週割当時間：2 時間	
担当：坂井 祐子（看護師） 会津中央病院で 25 年の実務経験 高橋とも子（専任教員） 会津中央病院で 9 年の実務経験			
分 野 専門分野Ⅱ 小児看護学			
学習目標 1. 健康障害を持つ子どもと家族に、適切な看護を提供するために必要な基本的知識と援助技術を理解する。			
回数 及び時間	授 業 内 容	方法	備考
1（2）	新生児、染色体異常・先天異常児の看護	講義	
2（2）	免疫疾患・アレルギー疾患・リウマチ性疾患患児の看護	講義	
3（2）	感染症疾患患児の看護	講義	
4（2）	腎・泌尿器・生殖器疾患患児の看護	講義	
5（2）	呼吸器疾患患児の看護	講義	
6（2）	代謝性疾患・内分泌疾患患児の看護	試験	
7（2）	循環器疾患患児の看護	講義	
8（2）	消化器疾患患児の看護	講義	
9（2）	血液造血器疾患・悪性新生物疾患患児の看護	講義	
10（2）	神経疾患患児の看護	講義	
11（2）	運動器疾患患児の看護	講義	
12（2）	感覚器疾患患児の看護	試験	
13（2）	精神疾患患児の看護	講義	
14（2）	事故・外傷児の看護	講義	
15（2）	不登校・虐待児の看護	講義	
16（2）	まとめ 試験	試験	
成績評価方法 筆記試験 テキスト・参考書 小児臨床看護各論 医学書院 こどもの病気の地図帳 講談社 写真で分かる小児看護技術 インターメディカ その他			

母性看護学概論 概論		開講学年：第 1 学年 開講学期：後期 単 位 数：1 単位 3 0 時間（1 5 時間） ＊保健 1 5 時間と合わせて 3 0 時間 開講形態：講義 週割当時間：2 時間	
担当：高杉 寿江（専任教員） 会津中央病院で 7 年の実務経験			
分野 専門分野Ⅱ 母性看護学			
学習目標 1．母性の対象を種族保存だけでなく、母性の役割を広くとらえ、健全なライフサイクルを送るための看護について理解する。			
回数 及び時間	授 業 内 容	方法	備考
1（1）	母性の定義 ジカ熱小頭症	講義	
2（2）	愛着・母子相互作用と母子関係形成	講義	
3（2）	セクシャリティ リプロダクティブヘルス／ライツ	講義	
4（1）	母性看護における倫理	講義	
5（2）	母性看護における安全・事故防止 母性看護の歴史的変遷と現状	講義	
6（2）	母子保健統計の動向 母子に関わる社会資源	講義	
7（1）	母子に関わる社会資源まとめ	講義	
8（2）	母性・父性・親性 DVD「そして父になる」 課題	DVD	
9（1）	性周期 GW	講義・GW	
10（1）	まとめ	試験	
成績評価方法 筆記試験			
テキスト・参考書		母性看護学（1）母性看護学概論 （医学書院） 国民衛生の動向	
その他			

母性看護学概論 保健		開講学年：第 1 学年 開講学期：後期 単 位 数：1 単位 3 0 時間（1 5 時間） ＊概論 1 5 時間と合わせて 3 0 時間 開講形態：講義 週割当時間：2 時間	
担当：渡部 和枝（助産師） 会津中央病院で 31 年の実務経験			
分野 専門分野Ⅱ 母性看護学			
学習目標 1．母性の対象を種族保存だけでなく、母性の役割を広くとらえ、健全なライフサイクルを送るための看護について理解する。			
回数 及び時間	授 業 内 容	方法	備考
1（2）	母性看護に必要な看護技術	講義	
2（2）	母性看護に必要な看護技術	講義	
3（2）	ライフサイクルにおける女性の健康と看護の必要性	講義	
4（2）	ライフサイクルにおける女性の健康と看護の必要性	講義	
5（2）	ライフサイクルにおける女性の健康と看護の必要性	講義	
6（2）	リプロダクティブヘルスケア	講義	
7（2）	リプロダクティブヘルスケア	講義	
8（1）	まとめ	試験	
成績評価方法 筆記試験			
テキスト・参考書 母性看護学（1）母性看護学概論 （医学書院）			
その他			

母性看護学方法論Ⅰ 正常編・看護技術		開講学年：第2学年 開講学期：前期 単位数：2単位45時間（25時間） ＊疾患各論20時間と合わせて45時間 開講形態：講義・演習 週割当時間：2時間	
分野 専門分野Ⅱ 母性看護学			
学習目標 1. 母性の対象を種族保存だけでなく、母性の役割を広くとらえ、健全なライフサイクルを送るための看護について理解する。			
回数 及び時間	授 業 内 容	方法	備考
1（2）	オリエンテーション 妊娠成立・生理 ビデオ	講義・ビデオ	
2（2）	妊婦の看護	講義	
3（2）	妊娠のアセスメント 妊婦健康診査 産科的診察法	講義	
4（2）	妊婦と家族の看護 妊娠の届出 母子手帳 食生活	講義	
5（2）	妊娠中のトラブル予防と生活 つわり、貧血、高血圧症候群、カフェイン、たばこ、 アルコール	講義	
6（2）	排泄、清潔、衣生活について 休養と活動について	講義	
7（2）	旅行、勤労、性生活、マイナートラブル、分娩準備教育	講義	
8（2）	分娩準備教育（入院、育児、乳房ケア） 実習（レオポルド、妊婦体験、乳房マッサージ）	演習	
9（2）	分娩期の看護 DVD 出産 分娩経過について	DVD	
10（2）	〃 安全・安楽への看護	講義	
11（2）	〃 疼痛緩和 産褥の生理・アセスメント	講義	
12（2）	産褥期の看護	講義	
13（1）	まとめ	試験	
成績評価方法 筆記試験 テキスト・参考書 母性看護学（2）母性看護学各論 （医学書院） その他			

母性看護学方法論Ⅰ 疾患各論		開講学年：第2学年 開講学期：前期 単位数：2単位45時間（20時間） ＊正常編・看護技術25時間と合わせて45時間 開講形態：講義 週割当時間：1時間	
分野 専門分野Ⅱ 母性看護学			
学習目標			
1. 母性の対象を種族保存だけでなく、母性の役割を広くとらえ、健全なライフサイクルを送るための看護について理解する。			
回数 及び時間	授 業 内 容	方法	備考
1（1）	妊娠・家族計画	講義	
2（1）	妊娠による生理的变化 胎児・胎盤・羊水	講義	
3（1）	妊娠悪阻 流産	講義	
4（1）	異所性妊娠 妊娠中の注意点	講義	
5（2）	感染 早産 母体搬送	講義	
6（2）	双胎妊娠 高齢・若年妊娠 出生前診断	講義	
7（2）	妊娠高血圧症候群 妊娠糖尿病	講義	
8（2）	胎盤の異常 胎児心拍モニタリング 過期妊娠	講義	
9（2）	血液型不適合妊娠 正常分娩	講義	
10（2）	異常分娩	講義	
11（2）	産褥の異常 不妊症	講義	
12（1）	試問対策	講義	
13（1）	まとめ	試験	
成績評価方法			
筆記試験			
テキスト・参考書			
母性看護学（2）母性看護学各論 （医学書院）			
その他			

母性看護学方法論Ⅱ 新生児		開講学年：第2学年 開講学期：後期 単位数：1単位30時間（15時間） ＊異常編15時間と合わせて30時間 開講形態：講義・演習 週割当時間：2時間	
担当：村岡 由利枝（専任教員） 会津中央病院他施設等で14年の実務経験			
分野 専門分野Ⅱ 母性看護学			
学習目標 1. 母性の対象を種族保存だけでなく、母性の役割を広くとらえ、健全なライフサイクルを送るための看護について理解する。			
回数 及び時間	授 業 内 容	方法	備考
1（1）	新生児の定義	講義	
2（2）	新生児の機能 呼吸・循環	講義	
3（1）	糖 ビリルビン代謝 生理的黄疸	講義	
4（1）	消化器系と栄養	講義	
5（1）	出生直後の看護 アプガースコア シルバーマンスコア	講義	
6（1）	新生児反射 マスクリーニング	講義	
7（1）	聴力 生理的体重減少	講義	
8（2）	沐浴	演習	
9（1）	ハイリスク新生児の看護 低出生体重児 感染症	講義	
10（1）	高ビリルビン血症 光線療法	講義	
11（1）	頭血腫 産瘤	講義	
12（1）	プロフェッショナル仕事の流儀「ただ生まれる命のために」	DVD	
13（1）	まとめ	試験	
成績評価方法 筆記試験			
テキスト・参考書 母性看護学（2）母性看護学各論 （医学書院）			
その他			

母性看護学方法論Ⅱ 異常編		開講学年：第 2 学年 開講学期：後期 単 位 数：1 単位 3 0 時間（1 5 時間） ＊新生児 1 5 時間と合わせて 3 0 時間 開講形態：講義 週割当時間：2 時間		
担当：安齋 真理（助産師） 会津中央病院で 14 年の実務経験				
分野 専門分野Ⅱ 母性看護学				
学習目標 1．母性の対象を種族保存だけでなく、母性の役割を広くとらえ、健全なライフサイクルを送るための看護について理解する。				
回数 及び時間	授 業 内 容		方法	備考
1（1）	妊娠の異常と看護 高齢・若年妊婦		講義	
2（1）	〃 肥満・勤労妊婦・やせ妊婦 A R T 後の妊婦・母子感染		講義	
3（1）	〃 心疾患・糖代謝異常		講義	
4（1）	婦人科疾患・P I H		講義	
5（1）	〃 切迫流早産・多胎		講義	
6（1）	その他の問題を持つ妊婦の看護		講義	
7（1）	分娩の異常と看護 破水時の看護		講義	
8（1）	〃 分娩遷延のリスク・胎児機能不全の看護		講義	
9（1）	〃 帝王切開術を受ける産婦の看護		講義	
1 0（1）	〃 前置胎盤・胎盤早期剥離・異常出血		講義	
1 1（1）	産褥の異常と看護 子宮復古不全・産褥熱		講義	
1 2（1）	〃 乳房トラブル・感染症を持つ褥婦の看護		講義	
1 3（1）	〃 母子分離・児を亡くした褥婦と家族の看護		講義	
1 4（1）	〃 精神障害合併妊婦と家族の看護		講義	
1 5（1）	まとめ		試験	
成績評価方法 筆記試験				
テキスト・参考書 母性看護学（2）母性看護学各論 （医学書院）				
その他				

精神看護学概論 総論		開講学年：第1学年 開講学期：後期 単位数：1単位30時間（15時間） ＊保健15時間と合わせて30時間 開講形態：講義 週割当時間：2時間	
担当：二瓶 キヨ子（専任教員） 会津中央病院で12年の実務経験			
分野 専門分野Ⅱ 精神看護学			
学習目標 1. 精神看護学の考え方を理解する。 2. 精神保健・医療・福祉・看護の歴史と現状、課題を理解する。 3. 精神医療福祉に関連する法制度について理解する。			
回数 及び時間	授 業 内 容	方法	備考
1（1）	精神看護学の考え方 現代社会の特徴と問題	講義	
2（1）	心精神看護の考え方	講義	
3（1）	精神看護の基本理念	講義	
4（1）	看護理論 オレムのセルフケア理論 ペプロウの看護理論	講義	
5（1）	ペプロウの看護理論・プロセスレコード	講義	
6（2）	プロセスレコード・精神医療看護の歴史（欧米・日本）	講義	
7（2）	精神保健福祉法について	講義	
8（2）	精神保健福祉法（入院形態について） 精神保健福祉法以外の法律	講義	
9（2）	精神障害の現状・諸統計	講義	
10（2）	リエゾン精神看護	講義	
11（1）	終講試験	試験	
成績評価方法 筆記試験			
テキスト・参考書 佐藤壹三 他：新体系看護 看護学全集精神看護学①精神看護学概論・精神保健、メジカルフレンド社 その他			

精神看護学概論 保健		開講学年：第1学年 開講学期：後期 単位数：1単位30時間（15時間） ＊総論15時間と合わせて30時間 開講形態：講義 週割当時間：2時間	
担当：二瓶 キヨ子（専任教員） 会津中央病院で12年の実務経験			
分野 専門分野Ⅱ 精神看護学			
学習目標 1. 人間の心の健康を成長発達、社会的適応の面からとらえ、健全な心の働きと不健全な心の働きについて理解する。 2. 現代社会における精神保健活動の課題を考える。			
回数 及び時間	授 業 内 容	方法	備考
1（1）	ストレスとは・危機理論	講義	
2（2）	危機理論・フロイトの精神構造	講義	
3（2）	防衛機制・エリクソンの発達理論	講義	
4（2）	フロイトの発達理論・ピアジェの発達課題	講義	
5（1）	危機の諸相について（虐待について）	講義	
6（1）	危機の諸相について（各発達段階での危機）	講義	
7（1）	医療現場における危機の諸相	講義	
8（1）	特殊な状況における危機の諸相	講義	
9（1）	DVD	講義	
10（1）	ジョハリの窓	講義	
11（1）	まとめ	講義	
12（1）	終講試験	試験	
成績評価方法 筆記試験 テキスト・参考書 佐藤壹三 他：新体系看護 看護学全集精神看護学①精神看護学概論・精神保健、メジカルフレンド社 その他			

精神看護学方法論Ⅰ 保健		開講学年：第2学年 開講学期：前期 単位数：2単位45時間（15時間） ＊疾患30時間と合わせて45時間 開講形態：講義 週割当時間：2時間	
担当：二瓶 キヨ子（専任教員）			
分野 専門分野Ⅱ 精神看護学			
学習目標 1. 環境が心の健康にどのような影響を与えるかを理解する。 2. 現代社会における精神保健活動の課題を考える。			
回数 及び時間	授 業 内 容	方法	備考
1（2）	国際障害者分類 ノーマライゼーション	講義	
2（2）	カウンセリング技法	講義	
3（2）	ビデオ「”幻聴”から”幻聴さん”へ」 今までの復習	ビデオ	
4（2）	精神の健康の啓蒙活動	講義	
5（2）	リカバリー・エンパワメント・ストレス・レジリエンスについて	講義	
6（2）	事例を通してプロセスレコードの再構成	講義	
7（3）	映画『A Beautiful Mind』を見て まとめ	DVD	
8（1）	まとめ	試験	
成績評価方法 筆記試験 テキスト・参考書 佐藤壹三 他：新体系看護 看護学全集精神看護学①精神看護学概論・精神保健、メジカルフレンド社 その他			

精神看護学方法論Ⅰ 精神看護学疾患		開講学年：第2学年 開講学期：後期 単位数：2単位45時間（30時間） ＊精神保健15時間と合わせて45時間 開講形態：講義 週割当時間：3時間	
担当：古関 雅章（医師）			
分野 専門分野 精神看護学			
学習目標 1. 精神障害の診断と検査について理解する 2. 精神障害の治療について理解する 3. 精神障害の病態と治療について理解する。			
回数 及び時間	授 業 内 容	方法	備考
1（3）	精神障害の診断と検査	講義	
2（3）	主な精神障害の治療（薬物療法）	講義	
3（3）	主な精神障害の治療（精神療法）	講義	
4（3）	主な疾患：統合失調症	講義	
5（3）	主な疾患：気分障害	講義	
6（3）	主な疾患：神経症・	講義	
7（3）	主な疾患：心身症・人格障害	講義	
8（3）	主な疾患：てんかん・アルコール依存	講義	
9（3）	主な疾患：認知症	講義	
10（3）	主な疾患：発達障害（自閉症・ADHD・拒食症）	講義	
11（1）	まとめ	試験	
成績評価方法 筆記試験			
テキスト・参考書 佐藤 壹三 他：新体系看護 看護学全集精神看護学②精神障害をもつ人の看護、メジカルフレンド社 その他			

精神看護学方法論Ⅱ 精神看護学		開講学年：第3学年 開講学期：前期 単位数：1単位30時間 開講形態：講義 週割当時間：2～4時間	
担当：真部 京子（看護師） 会津中央病院、会津西病院で34年の 実務経験			
分野 専門分野Ⅱ 精神看護学			
学習目標 1. 主な精神障害、精神症状の看護について理解する。 2. 精神科の各主治療法とその看護について理解する。 3. 精神科における法律と現状・課題について理解する			
回数 及び時間	授 業 内 容	方法	備考
1（2）	精神看護とは、歴史からみた精神科看護	講義	
2（2）	精神科における法律・行動制限	講義	
3（2）	精神障害者の理解・接触法・よいコミュニケーション	講義	
4（2）	精神科における観察とその意味	講義	
5（2）	精神科における事故	講義	
6（2）	精神科の記録（プロセスレコード）	講義	
7（2）	家族心理、社会復帰、地域医療、ACT	講義	
8（2）	症状と看護	講義	
9（2）	症状と看護	講義	
10（2）	症状と看護、検査・診察時の看護	講義	
11（2）	症状別看護のまとめ	講義	
12（2）	急性期・認知症・依存症・てんかんの看護	講義	
13（2）	統合失調症の看護	講義	
14（2）	気分障害の看護	講義	
15（2）	パニック障害・境界型人格障害の看護 精神科リハビリ	講義	
16（1）	まとめ	試験	
成績評価方法 筆記試験			
テキスト・参考書 佐藤壹三 他：新体系看護 看護学全集精神看護学②精神障害をもつ人の看護、メジカルフレンド社			
その他			

成人看護学Ⅰ実習		開講学年：第2学年 開講時期：後期 単位数　：2単位　90時間 開講形態：臨地実習 週割当時間：37.5時間	
担当：渡部　裕美子（専任教員） 会津中央病院で8年の実務経験			
分野　専門分野Ⅱ　臨地実習			
目　的 慢性期・リハビリ期の患者の特徴を理解し、看護計画を立案、実践、評価、修正できる。			
目　標 1）慢性期・リハビリ期の看護の特徴を理解し、関わり方を理解する。 2）成人の生活様式に応じた援助のあり方を理解する。 3）経過別・治療処置別看護の基礎を理解する。			
回数 及び時間	実習内容	方法	備考
1（90）	病院で患者を1名受け持ち、看護過程の展開を行う	実習	
実習施設 会津中央病院　病棟			
成績評価方法 出席状況、実習態度、実習記録などのより総合的に評価する。			
テキスト・参考書 指定しない、各自、関連する文献を活用する。			
その他			

成人看護学Ⅱ実習		開講学年：第3学年 開講時期：前期 単位数　：2単位　90時間 開講形態：臨地実習 週割当時間：30～37.5時間	
担当：本田　めぐみ（専任教員） 会津中央病院で13年の実務経験			
分野　専門分野Ⅱ　臨地実習			
目　的 急性期の患者の特徴を理解し、看護計画を立案・実践・評価・修正できる。			
目　標 1）急性期の看護を理解して関わり方を理解できる。 2）経過別の各期に起こり得る危機的な状況を理解して指導を受けながら、看護を実施できる。 2）成人の生活様式に応じた援助のあり方を理解できる。 3）受け持ち患者を通して、経過別、主要症状別、治療処置別看護について学ぶ。 4）慢性期にある患者を受け持ち、継続看護について理解できる。 5）回復期にある患者のリハビリテーション看護について理解できる。			
回数 及び時間	実習内容	方法	備考
1（90）	病院で患者を1名受け持ち、看護過程の展開を行う	実習	
実習施設 会津中央病院　病棟			
成績評価方法 出席状況、実習態度、実習記録などのより総合的に評価する。			
テキスト・参考書 指定しない、各自、関連する文献を活用する。			
その他			

成人看護学Ⅲ実習		開講学年：第 3 学年 開講時期：前期 単位数　：2 単位　9 0 時間 開講形態：臨地実習 週割当時間：30～37.5 時間	
担当：本田　めぐみ（専任教員） 会津中央病院で 13 年の実務経験			
分野　専門分野Ⅱ　臨地実習			
目　的 終末期の患者の特徴を理解し、看護計画を立案・実践・評価・修正できる。			
目　標 1）終末期の看護を理解して関わり方を理解できる。 2）経過別の各期に起こり得る危機的な状況を理解して指導を受けながら、看護を実施できる。 3）成人の生活様式に応じた援助のあり方を理解できる。 4）受け持ち患者を通して、経過別、主要症状別、治療処置別看護について学ぶ。 5）患者の個別性を重視した看護活動が実践できる。			
回数 及び時間	実習内容	方法	備考
1（90）	病院で患者を 1 名受け持ち、看護過程の展開を行う	実習	
実習施設 会津中央病院　病棟			
成績評価方法 出席状況、実習態度、実習記録などのより総合的に評価する。			
テキスト・参考書 指定しない、各自、関連する文献を活用する。			
その他			

老年看護学Ⅰ実習		開講学年：第2学年 開講時期：後期 単位数：2単位 90時間 開講形態：臨地実習 週割当時間：37.5時間	
担当：堤 千恵（専任教員） 福島県立会津総合病院他で32年の実務経験			
分野 専門分野Ⅱ 臨地実習			
目 的 老年期にある患者の特徴を理解し、看護計画を立案し、実践、評価、修正できる。			
目 標 1) 受け持ち患者の生き方、外観から老年像をとらえることができる。 2) 受け持ち患者の健康状態を把握し、生活背景、生活習慣との関連を理解し、日常生活レベル低下に対する援助ができる。			
回数 及び時間	実習内容	方法	備考
1（90）	病院で患者を1名受け持ち、看護過程の展開を行う	実習	
実習施設 会津中央病院 病棟			
成績評価方法 出席状況、実習態度、実習記録などのより総合的に評価する。			
テキスト・参考書 指定しない、各自、関連する文献を活用する。			
その他			

老年看護学Ⅱ実習 担当：堤 千恵（専任教員） 福島県立会津総合病院他で 32 年の実務経験		開講学年：第 3 学年 開講時期：前期 単位数：2 単位 90 時間 開講形態：臨地実習 週割当時間：30～37.5 時間	
分野 専門分野Ⅱ 臨地実習			
目 的 老年期にある患者の特徴と健康レベルに応じた看護を理解し、看護計画を立案、実施、評価、修正できる。 目 標 1) 受け持ち患者の健康障害の複雑さ、多様性を理解し、それに応じた援助ができる。 2) 受け持ち患者および家族がソーシャルサポートシステムを活用できるよう働きかけることができる。 3) 受け持ち患者の生活信条、信念、価値観を尊重した行動がとれる。			
回数 及び時間	実習内容	方法	備考
1（90）	病院で患者を 1 名受け持ち、看護過程の展開を行う	実習	
実習施設 会津中央病院 病棟			
成績評価方法 出席状況、実習態度、実習記録などのより総合的に評価する。			
テキスト・参考書 指定しない、各自、関連する文献を活用する。			
その他			

小児看護学実習 担当：高橋　とも子（専任教員） 会津中央病院で 9 年の実務経験		開講学年：第 3 学年 開講学期：前期 単　位　数：2 単位（90 時間） 開講形態：臨地実習 週割当時間：30～37.5 時間	
分野　　専門分野Ⅱ　臨地実習			
実習目標 支援学校実習・・・1．さまざまな障がいのある小児の生活状況を知る。 2．小児が受けている専門的援助を知る。 保育所実習・・・1．小児との関わりを通し、健康な小児の成長発達を理解する。 クリニック実習・1．外来診療を必要とする小児の看護方法を理解する。 病棟実習・・・1．小児の経過別看護、主要症状別看護、治療処置別看護を理解する。 2．患児の個別性を考えた看護計画を立案、実践する。 3．患児を通して継続看護（退院指導）を理解する。			
回数 及び時間	実　習　内　容	方法	備考
1（15）	・小児に望ましい環境について ・さまざまな障がいのある小児の成長発達を促すような援助のあり方 ・一人一人の小児の個性を尊重した対応の仕方	実習	
2（30）	・成長発達段階に合わせた日常生活の援助方法 ・成長発達段階に合わせた言葉かけ、対応の仕方 ・成長発達段階に合わせた遊びの工夫 ・小児が安全に過ごせる環境調整の仕方 ・小児の個性を尊重した対応の仕方	実習	
3（15）	・小児外来の環境と機能 ・患児の症状や成長発達に応じた対応の仕方 ・診察の準備・介助・後始末の仕方 ・外来で行われる処置・検査・治療の介助 ・小児に適応される補助・助成の理解	実習	
4（30）	・患児の成長発達や健康障害に応じた日常生活の援助方法 ・看護に必要な基本技術（与薬・検査・処置など） ・小児及び家族への日常生活指導、継続看護の必要性 ・患児および家族への日常生活指導、継続看護の必要性を理解した看護	実習	
実習施設 県立会津支援学校　　つるが保育園　　いづかファミリークリニック 会津中央病院			
成績評価方法 実習に伴う学習、記録、レポート、出席状況、実習態度を総合的に評価する			
その他			

母性看護学実習		開講学年：第3学年 開講時期：前期 単位数　：2単位　90時間 開講形態：臨地実習 週割当時間：30～37.5時間	
担当：村岡　由利枝（専任教員） 会津中央病院他施設等で14年の実務経験			
分野	専門分野Ⅱ　臨地実習		
目　的 各期の母性および新生児に対して適切な看護活動が実践できる。			
目　標 1）妊・産・褥婦・新生児の正常な経過を把握した看護計画を立案し実践できる。 2）疾患を持つ妊・産・褥婦及び異常分娩に対する看護について理解する。 3）妊・産・褥婦の受け持ちを通して継続看護を理解する。			
回数 及び時間	実習内容	方法	備考
1（90）	病院で患者を1名受け持ち、看護過程の展開を行う	実習	
実習施設 会津中央病院　病棟			
成績評価方法 出席状況、実習態度、実習記録などのより総合的に評価する。			
テキスト・参考書 母性看護学（2）母性看護学各論　（医学書院） 周産期ケアマニュアル（医学芸術社）			
その他			

精神看護学実習		開講学年：第 3 学年 開講時期：前期 単位数　：2 単位　9 0 時間 開講形態：臨地実習 週割当時間：30 時間	
担当：二瓶　キヨ子（専任教員） 会津中央病院で 12 年の実務経験			
分野　　専門分野Ⅱ　臨地実習			
目　的 精神に障害のある対象を理解し、精神看護の実践に必要な基礎的能力を養う			
目　標 1）精神に障害のある対象を理解できる。 2）精神科病棟の治療環境と看護師の役割が理解できる。 3）精神の障害のある対象に対して、必要な看護援助が理解できる。 4）精神医療の現状について考え、社会資源の活用について理解できる。 5）精神に障害のある対象との関わりを通して、自己洞察ができる。			
回数 及び時間	実習内容	方法	備考
1（90）	病院で患者を 1 名受け持ち、看護過程の展開を行う	実習	
実習施設 会津西病院メンタルケア			
成績評価方法 出席状況、実習態度、実習記録などのより総合的に評価する。			
テキスト・参考書 指定しない、各自、関連する文献を活用する。			
その他			

在宅看護論概論		開講学年：第1学年 開講学期：後期 単位数：1単位 30時間 開講形態：講義 週割当時間：2時間	
担当：水下 明美（専任教員） 会津中央病院で6年の実務経験			
分野 統合分野 在宅看護論			
学習目標 1. 在宅看護の概念と目的、変遷について理解する。			
回数及び 時間	授 業 内 容	方法	備考
1（2）	ガイダンス:授業の概要・在宅看護のイメージ	講義	
2（3）	情勢の変化と在宅看護 在宅看護とは	講義	
3（1）	在宅看護の目的・特徴 在宅看護とは・対象・場所など	講義	
4（2）	〃 介護保険制度	講義	
5（1）	〃 在宅看護の歴史	講義	
6（2）	在宅看護における看護師の機能・役割 DVD	講義・DVD	
7（4）	〃 地域包括ケアシステム・クリティカルパス等	講義	
8（3）	在宅看護における看護師の機能・役割 退院支援・退院調整	講義	
9（2）	在宅看護における倫理	講義	
10（4）	在宅看護の対象者 特徴	講義	
11（2）	〃 家族を理解する基礎理論	講義	
12（1）	〃 家族支援	講義	
13（2）	DVD・まとめ	講義・DVD	
14（1）	終講試験	試験	
成績評価方法 筆記試験			
テキスト 統合分野 在宅看護論 医学書院			
その他			

在宅看護論方法論Ⅰ 看護活動		開講学年：第2学年 開講学期：前期 単 位 数：2単位 45時間（15時間） ＊看護活動30時間（水下）と合わせ45時間 開講形態：講義 週割当時間：2時間	
担当：大友 和広（看護師） 会津中央病院で24年の実務経験			
分野 統合分野 在宅看護論			
学習目標 1．在宅看護の実践について理解する。			
回数及び （時間）	授 業 内 容	方法	備 考
1（1）	ガイダンス：在宅看護の場の広がり と 責任	講義	
2（1）	他職種との連携：連携の特徴 医師との連携 社会資源との連携	講義	
3（1）	退院支援	講義	
4（1）	退院時の訪問看護	講義	
5（1）	リスクマネジメント	講義	
6（1）	在宅での事故	講義	
7（1）	転倒事故防止	講義	
8（1）	感染防止について	講義	
9（1）	転倒・窒息予防	講義	
10（1）	火災について	講義	
11（1）	災害発生時の対応	講義	
12（1）	災害時の訪問看護	講義	
13（1）	災害の備えたマニュアル作成	講義	
14（1）	在宅看護のまとめ	講義	
15（1）	終講試験	試験	
成績評価方法 筆記試験			
テキスト 統合分野 在宅看護論 医学書院			
その他			

在宅看護論方法論Ⅰ 看護活動		開講学年：第2学年 開講学期：前期 単位数：2単位 45時間（30時間） ＊看護活動15時間（大友）と合わせ45時間 開講形態：講義 週割当時間：2時間	
担当：水下 明美（専任教員） 会津中央病院で6年の実務経験			
分野 統合分野 在宅看護論			
学習目標 1. 在宅看護の実践について理解する。 2. 在宅看護を必要とする対象を理解する。 3. 訪問の展開方法、患者家族に対する援助方法を理解する。			
回数及び （時間）	授 業 内 容	方法	備 考
1（2）	在宅看護の制度：創設・発展経緯等の理解	講義	
2（2）	在宅看護の仕組み：介護保険制度の理解	講義	
3（2）	〃：訪問看護制度の理解	講義	
4（2）	ケアマネジメントの概念と機能	講義	
5（3）	介護サービスや訪問看護の利用	講義	
6（1）	在宅看護過程	講義	
7（2）	在宅看護過程の展開：展開のポイント 情報収集・アセスメント	講義・GW	
8（2）	〃：展開方法 計画立案・ 問題抽出・看護目標	講義・GW	
9（2）	〃：実施・評価	講義・GW	
10（1）	事例を基に看護展開（GW）	講義・GW	
11（3）	在宅における権利擁護 成年後見制度 対象の尊厳・虐待	講義	
12（5）	介護保険制度 GW パンフレット作成	講義・GW	
13（3）	GW 発表 ・まとめ	GW・発表	
16（1）	まとめ	試験	
成績評価方法 筆記試験 テキスト 統合分野 在宅看護論 医学書院 その他			

在宅看護論方法論Ⅱ 看護方法と技術		開講学年：第2学年 開講学期：前期 単位数：1単位30時間 開講形態：講義 週割当時間：2時間	
担当：長谷川 理恵（看護師） 会津中央病院で27年の実務経験			
分野 統合分野 在宅看護論			
学習目標 1. 在宅看護の実践について理解する。 2. 在宅における生活支援の技術と方法について理解する。 3. 在宅における疾患別看護について理解する。（終末期含む） 4. 在宅看護の保健医療福祉対策について理解する。			
回数 及び時間	授 業 内 容	方法	備考
1（2）	在宅で看護を展開するにあたって 在宅で求められる技術の応用	講義	
2（2）	食生活 嚥下、排泄、移乗・移動動作に関する在宅看護技術	講義	
3（2）	認知症・終末期の看護アセスメント法と援助技術	講義	
4（2）	褥瘡、留置カテーテルの看護と技術	講義	
5（2）	ストーマ 経管栄養	講義	
6（2）	在宅中心静脈栄養法（HPN）非侵襲的陽圧換気療法（NPPV） 在宅酸素療法（HOT）在宅人工呼吸療法（HMV）	講義	
7（2）	疼痛緩和ケア 在宅看護介入時時期別の特徴	講義	
8（2）	脳卒中をおこした患者の在宅療養導入の事例展開	講義	
9（2）	脳卒中をおこした患者の在宅療養導入の事例展開 GW 発表	講義・GW	
10（2）	パーキンソン病の療養者に対する在宅看護の事例展開	講義	
11（2）	認知症・小児の療養者に対する在宅看護の事例展開	講義	
12（2）	ALSで人工呼吸療法実施する療養者の在宅看護の事例展開	講義	
13（2）	COPD療養者に対する在宅看護の事例展開 GW 発表	講義・GW	
14（2）	独居・終末期の療養者に対する在宅看護の事例展開	講義	
15（1）	統合失調症の療養者に対する在宅看護の事例展開	講義	
16（1）	まとめ	試験	
成績評価方法 筆記試験			
テキスト 統合分野 在宅看護論 医学書院			
その他			

看護管理 担当：長澤 ひろ子（看護師） 会津中央病院で 41 年の実務経験 二瓶 キヨ子（専任教員） 会津中央病院で 12 年の実務経験		開講学年：第 3 年 開講学期：前期 単 位 数：1 単位 1 5 時間（長澤 5 H・二瓶 1 0 H） 開講形態：講義 週割当時間： 1 時間	
分野 統合分野 看護の統合と実践			
学習目標 1. 看護の対象に質の良いサービスを提供するために必要な知識を理解する。 2. 看護のリーダーシップやメンバーシップ・マネージメントシップを身につける。			
回数及び (時間)	授 業 内 容	方法	備考
1 (2)	看護管理とは、 看護におけるマネジメント	講義	
2 (1)	看護管理の変遷 看護の定義	講義	
3 (1)	看護の法的責任・看護業務	講義	
4 (1)	医療制度	講義	
5 (1)	ストレスマネジメント・組織マネジメント	講義	
6 (1)	ケアのマネジメントと看護職の機能	講義	
7 (1)	看護基準・看護手順について	講義	
8 (1)	患者の権利尊重 安全管理	講義	
9 (1)	医療事故・院内感染と管理	講義	
1 0 (1)	災害と看護管理	講義	
1 1 (1)	看護職の協働 他職種との協働	講義	
1 2 (1)	情報管理	講義	
1 3 (1)	協働のためのマネジメント 情報マネジメント	講義	
1 4 (1)	サービス評価	講義	
1 5 (1)	まとめ	講義	
1 6 (1)	試験	試験	
成績評価方法 筆記試験			
テキスト 別巻 8 看護管理 医学書院			
その他			

医療安全		開講学年：第 2 学年 開講学期：前期 単 位 数：1 単位 1 5 時間 開講形態：講義・演習 週割当時間：2 時間	
担当：五十嵐信子（看護師） 会津中央病院で 27 年の実務経験			
分野 統合分野 看護の統合と実践			
学習目標 1. 人々の健康を護るため医療の安全に関する基本的知識と、実際に活用できる能力を身につける。			
回数及び 時間	授 業 内 容	方法	備考
1（2）	医療安全概論 医療安全の基本的考え方	講義	
2（2）	医療安全概論 危機の種類や状況	講義	
3（2）	医療安全予防策 ヒューマンエラーと事例展開	講義	
4（2）	医療安全各論 医療者が行う侵襲的行為	講義	
5（2）	医療安全各論 患者の行為に伴う危機 院内感染と危機	講義	
6（2）	アクシデント発生時の事例展開と予防の 3 ステップ	講義	
7（2）	医療安全 事例展開 まとめ	講義	
8（1）	まとめ	試験	
成績評価方法 筆記試験 テキスト 看護の統合と実践〔2〕医療安全 医学書院			
その他 看護管理や微生物学・成人看護学等と連携させる。			

災害看護		開講学年：第3学年 開講学期：前期 単位数：1単位15時間 開講形態：講義・演習 週割当時間：1～2時間	
担当：小林 誠一（看護師） 会津中央病院で25年の実務経験			
分野 統合分野 看護の統合と実践			
学習目標 1. 災害など特殊な状況の中で人々の生命や健康を支援するための基礎的知識を養う。 2. 災害時における人々の心理状況が理解できる能力を身につける。			
回数及び時間	授 業 内 容	方法	備考
1（2）	災害の定義 分類	講義	
2（1）	災害の歴史と医療の現状	講義	
3（2）	救急医療と災害医療	講義	
4（2）	トリアージ	講義	
5（2）	看護師の役割	講義	
6（2）	対象別看護	講義	
7（2）	心のケア（PTSD など）	講義	
8（2）	演習（1例）災害時のトリアージと救急医療	演習	
9（1）	まとめ	試験	
成績評価方法 筆記試験・レポート			
テキスト 看護の統合と実践〔3〕災害看護学・国際看護学 医学書院			
その他 救急看護と連携を図る。			

国際看護		開講学年：第 1 学年 開講学期：後期 単 位 数：1 単位 1 5 時間 開講形態：講義・講演 週割当時間：2 時間	
担当：水下 明美（専任教員） 会津中央病院で 6 年の実務経験			
分野 統合分野 看護の統合と実践			
学習目標 1. 看護を国際的視野で捉え、広く社会に貢献できる能力を養う。			
回数 及び時間	授 業 内 容	方法	備考
1（2）	国際看護概念 対象 国際看護の目的	講義	
2（2）	世界の健康問題の状況	講義	
3（2）	ミレニアム開発目標 DVD「医療機関と世界のつながり」	講義	
4（2）	日本国内の国際化・国際協力	講義	
5（3）	DVD「世界で活動する看護のプロフェッショナルたち」 「国際看護を学ぶ意義」	講義	
6（3）	特別講演「JICAの活動について」	講演	
7（1）	試験	試験	
成績評価方法 筆記試験・レポート テキスト 看護の統合と実践〔3〕災害看護学・国際看護学 医学書院 その他			

臨床看護学演習		開講学年：3年 開講学期：後期 単位数：1単位15時間 開講形態：演習 週割当時間：5～8時間	
担当：水下 明美（専任教員） 会津中央病院で6年の実務経験			
分野 統合分野 看護の統合と実践			
学習目標 1. 複合課題を通して、知識・技術の統合と総合的な判断を学び、臨床実践能力を養う。			
回数 及び時間	授 業 内 容	方法	備考
1（3）	オリエンテーション 採血デモンストレーション	演習	
2（2）	採血練習	演習	
3（3）	採血演習	演習	
4（1）	点滴静脈内注射デモンストレーション	演習	
5（2）	点滴静脈内注射練習	演習	
6（2）	点滴静脈内注射演習	演習	
7（4）	多重課題演習	演習	
8（2）	多重課題まとめ	グループワーク	
成績評価方法 レポート・実技から評価表を用いて評価			
テキスト 基礎看護技術Ⅰ・Ⅱ 医学書院			
その他			

在宅看護論実習		開講学年：第3学年 開講学期：前期 単位数：2単位（90時間） 開講形態：臨地実習 週割当時間：30～37.5時間	
担当：水下 明美（専任教員） 会津中央病院で6年の実務経験			
分野 統合分野 臨地実習			
実習目標 保健福祉事務所実習 保健福祉事務所の機能、役割を理解し、地域で生活する人々の健康保持、増進、疾病予防のための援助を理解する。 地域包括支援センター実習／介護老人保健施設実習／通所介護施設 在宅療養者とその家族への援助の方法を学ぶ。 訪問看護ステーション実習 在宅看護の現状と対象について理解する。 在宅看護の役割と援助について理解する。			
回数 及び時間	実 習 内 容		方法 実習施設
1 (7.5)	1 事業概要 2 予防業務 3 関連機関との連携		保健福祉事務所
2 (22.5)	1 役割、機能について理解する。 2 入院生活から在宅への移行を円滑にするために準備について理解する。 3 これからの療養生活について患者と家族が知識を得て理解を深めるための指導について理解する。 4 社会資源の活用について理解する。 5 健康の保持増進への指導について理解する。 6 関連機関とその連携について理解する。		第5地域包括支援センター ライフケア鶴賀 枝雪零苑デイサービスセンター
3 (60)	1 機能と役割について理解する。 2 対象に応じた看護、指導、自立への援助が看護者とともにできる。 3 介護の仕方や看護上の問題を対象と家族に認識させる方法を理解する。 4 社会資源の活用、関係機関との連携について理解する。 5 家族の精神的な支えと健康の保持増進への指導の方法を理解する。		会津中央訪問看護ステーション
実習施設	会津保健福祉事務所 会津若松市第5地域包括支援センター ライフケア鶴賀 枝雪零苑デイサービスセンター 会津中央訪問看護ステーション		
成績評価方法	実習に伴う学習、記録、レポート、実習態度を総合的に評価する		

総合実習		開講学年：第3学年 開講時期：後期 単位数：2単位 90時間 開講形態：臨地実習 週割当時間：30～37.5時間	
担当：水下 明美（専任教員） 会津中央病院で6年の実務経験			
分野 統合分野 臨地実習			
目的 既習の各実習を元に知識・技術・態度を統合し、看護連続性や継続性を学び、実践能力を身につける			
目標 1) 看護管理について学び、保健医療チームにおける看護の役割と機能を理解する。 2) 複数を受け持つ実習を通し、自己の知識や技術を統合して連続的に看護場面に適応ができる。 3) コーディネーターの役割と業務を理解する。 4) 夜間帯実習を行い看護が24時間通して様々な場면을有していることを理解する。			
回数 及び時間	実習内容	方法	備考
1（90）	1.複数の患者の受け持ち(多重課題)の経験を通し、報告／連絡／相談の方法や、時間内業務の遂行方法、対象に有った看護技術の選択方法など、看護の継続性・効率性について理解する。 2.コーディネーター業務を経験し、保健医療チームにおける役割と責任について学ぶ。 3.夜間実習を経験し、24時間継続して患者と関わることの意義を理解する。 〔 20:00～翌朝 9:00 〕 仮眠あり	実習	
	解剖学実習		
実習施設 会津中央病院 病棟 福島医大解剖学講座 成績評価方法 出席状況、実習態度、実習記録などのより総合的に評価する。 テキスト・参考書 指定しない、各自、関連する文献を活用する。 その他			